

堺市上下水道局委託業務成績評定基準

(目的)

- 1 この基準は、堺市上下水道局工事成績評定要領で定めるもののうち、工事に関連する設計、測量等の委託業務の成績評定（以下「評定」という。）に必要な事項を定めるものとする。

(適用対象業務)

- 2 適用する対象業務は以下の通りとする。

- (1) 測量業務
- (2) 地質調査業務
- (3) 単純調査業務
- (4) 調査・計画業務
- (5) 概略・予備設計業務（土木）
- (6) 詳細設計業務（土木）
- (7) 建築設計業務
- (8) 工事監理業務

(監督員及び検査担当評定基準)

- 3 監督員及び検査担当は、当該業務の履行状況に応じ、各考査項目別採点基準表（監督員用、検査担当用）の該当評価項目に従って、評定を行うものとする。

(主任監督員評定基準)

- 4 主任監督員は、評定趣旨を十分に理解し、考査項目別採点基準表（主任監督員用）及び以下に示す減点項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

(1) 事故等による減点

当該業務執行中に受注者に起因する事故等が発生し、入札参加停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－１を参考として 15 点まで減点することができる。

別表－１ 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区分	口頭注意	文書注意	入札参加停止 (1ヶ月まで)	入札参加停止 (1ヶ月を超える)
考査点	-3 点	-5 点	-10 点	-15 点

(2) 契約不適合による追完又は損害賠償請求による減点

成果品に、受注者の責任に起因する契約不適合が存在し、契約書の契約不適合責任条項等に記された手続きに従い、契約不適合による追完又は損害賠償請求が実施された場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－２を参考として20点まで減点することができる。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

別表－２ 契約不適合の追完又は損害賠償請求が実施された場合の減点基準

区分	契約不適合の追完又は 損害賠償請求の実施	故意又は重大な過失による 契約不適合の追完又は 損害賠償請求の実施
考查点	-10 点	-20 点

(評定の方法)

5 評定については、以下に示す考查項目別採点基準表(別紙2－1～2－8)の各評価項目について評価を行い、以下に示す工事成績表(別紙1－1～1－8)を作成するものとする。

(別紙1－1) 工事成績表(測量業務)

(別紙1－2) 工事成績表(地質調査業務)

(別紙1－3) 工事成績表(単純調査業務)

(別紙1－4) 工事成績表(調査・計画業務)

(別紙1－5) 工事成績表(概略・予備設計業務(土木))

(別紙1－6) 工事成績表(詳細設計業務(土木))

(別紙1－7) 工事成績表(建築設計業務)

(別紙1－8) 工事成績表(工事監理業務)

(別紙2－1) 考查項目別採点基準表(測量業務)

(別紙2－2) 考查項目別採点基準表(地質調査業務)

(別紙2－3) 考查項目別採点基準表(単純調査業務)

(別紙2－4) 考查項目別採点基準表(調査・計画業務)

(別紙2－5) 考查項目別採点基準表(概略・予備設計業務(土木))

(別紙2－6) 考查項目別採点基準表(詳細設計業務(土木))

(別紙2－7) 考查項目別採点基準表(建築設計業務)

(別紙2－8) 考查項目別採点基準表(工事監理業務)

附 則

この基準は、令和8年4月1日以降に完了する工事に関連する設計、測量等の委託業務について適用する。

工 事 成 績 表 （測量業務）

契約番号		業種		担当課					
業 務 名									
受 託 者									
契約金額				完了年月日	令和 年 月 日				
履行期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日			検査確認日	令和 年 月 日				
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名									
監 督 員	所属			氏名					
主 任 監 督 員	所属			氏名					
検 査 担 当 (指定検査員)	所属			氏名					
評 価 項 目		監督員 評定点 ①	主任監督員 評定点 ②	検査担当 評定点 ③	業務評定 (※1) ④ (評定点/満点)	技術者評定⑤ (※1)			
						管理技術者 (評定点/満点)	担当技術者 (評定点/満点)	照査技術者 (評定点/満点)	
実施能力 の評価	実施体制と執行計画				①*0.4+②*0.2+ ③*0.4+12	/ 20	/ 5	/ 5	-
実施状況 の評価	執行管理		-	-	①*0.4+3	/ 5	/ 5	/ 5	-
	品質管理		-		①*0.4+③ *0.4+12	/ 20	/ 30	/ 30	/ 50
	業務特性	-		-	②*0.2+6	/ 10	/ 12.5	/ 12.5	-
	創意工夫		-	-	①*0.4+2.4	/ 4	/ 4	/ 4	-
説明調整能力 の評価	説明調整能力		-	-	①*0.4+3.6	/ 6	/ 6	/ 6	-
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	-		-	②*0.2+3	/ 5	/ 7.5	/ 7.5	-
成果品の品質			-		①*0.4+③ *0.4+18	/ 30	/ 30	/ 30	/ 50
⑥ 小計		-		-		/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
⑦ 事故等による減点		-		-		/	/	/	/
⑧ 瑕疵修補又は 損害賠償による減点		-		-		/	/	/	/
⑨ 総合評定点=⑥+⑦+⑧						/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
所 見									
監督員		主任監督員			検査担当 (指定検査員)				

※1 「④」及び「⑤」の各評価項目は小数第二位を四捨五入して表示している。
※2 「⑥」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

工 事 成 績 表（地質調査業務）

契約番号		業種		担当課					
業 務 名									
受 託 者									
契約金額			完了年月日	令和 年 月 日					
履行期間	令和 年 月 日	～	令和 年 月 日	検査確認日	令和 年 月 日				
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名									
監 督 員	所属			氏名					
主 任 監 督 員	所属			氏名					
検 査 担 当 (指定検査員)	所属			氏名					
評 価 項 目		監督員 評定点 ①	主任監督員 評定点 ②	検査担当 評定点 ③	業務評定 (※1) ④ (評定点/満点)	技術者評定⑤ (※1)			
						管理技術者 (評定点/満点)	担当技術者 (評定点/満点)	照査技術者 (評定点/満点)	
実施能力 の評価	実施体制と執行計画				①*0.4+②*0.2+ ③*0.4+12	/ 20	/ 5	/ 5	-
実施状況 の評価	執行管理		-	-	①*0.4+3	/ 5	/ 5	/ 5	-
	品質管理		-		①*0.4+③ *0.4+12	/ 20	/ 30	/ 30	/ 50
	業務特性	-		-	②*0.2+6	/ 10	/ 12.5	/ 12.5	-
	創意工夫		-	-	①*0.4+2.4	/ 4	/ 4	/ 4	-
説明調整能力 の評価	説明調整能力		-	-	①*0.4+3.6	/ 6	/ 6	/ 6	-
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	-		-	②*0.2+3	/ 5	/ 7.5	/ 7.5	-
成果品の品質			-		①*0.4+③ *0.4+18	/ 30	/ 30	/ 30	/ 50
⑥ 小計		-		-		/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
⑦ 事故等による減点		-		-		/	/	/	/
⑧ 瑕疵修補又は 損害賠償による減点		-		-		/	/	/	/
⑨ 総合評定点=⑥+⑦+⑧						/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
所 見									
監督員		主任監督員			検査担当 (指定検査員)				

※1 「④」及び「⑤」の各評価項目は小数第二位を四捨五入して表示している。
※2 「⑥」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

工 事 成 績 表 （単純調査業務）

契約番号		業種		担当課					
業 務 名									
受 託 者									
契約金額				完了年月日	令和 年 月 日				
履行期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日			検査確認日	令和 年 月 日				
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名									
監 督 員	所属			氏名					
主 任 監 督 員	所属			氏名					
検 査 担 当 (指定検査員)	所属			氏名					
評 価 項 目		監督員 評定点 ①	主任監督員 評定点 ②	検査担当 評定点 ③	業務評定 (※1) ④ (評定点/満点)	技術者評定⑤ (※1)			
						管理技術者 (評定点/満点)	担当技術者 (評定点/満点)	照査技術者 (評定点/満点)	
実施能力 の評価	実施体制と執行計画				①*0.4+②*0.2+ ③*0.4+12	/ 20	/ 5	/ 5	-
実施状況 の評価	執行管理		-	-	①*0.4+3	/ 5	/ 5	/ 5	-
	品質管理		-		①*0.4+③ *0.4+12	/ 20	/ 30	/ 30	/ 50
	業務特性	-		-	②*0.2+6	/ 10	/ 12.5	/ 12.5	-
	創意工夫		-	-	①*0.4+2.4	/ 4	/ 4	/ 4	-
説明調整能力 の評価	説明調整能力		-	-	①*0.4+3.6	/ 6	/ 6	/ 6	-
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	-		-	②*0.2+3	/ 5	/ 7.5	/ 7.5	-
成果品の品質			-		①*0.4+③ *0.4+18	/ 30	/ 30	/ 30	/ 50
⑥ 小計		-		-		/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
⑦ 事故等による減点		-		-		/	/	/	/
⑧ 瑕疵修補又は 損害賠償による減点		-		-		/	/	/	/
⑨ 総合評定点=⑥+⑦+⑧						/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
所 見									
監督員		主任監督員			検査担当 (指定検査員)				

※1 「④」及び「⑤」の各評価項目は小数第二位を四捨五入して表示している。
※2 「⑥」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

工 事 成 績 表（調査・計画業務）

契約番号		業種		担当課					
業 務 名									
受 託 者									
契約金額				完了年月日	令和 年 月 日				
履行期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日			検査確認日	令和 年 月 日				
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名									
監 督 員	所属			氏名					
主 任 監 督 員	所属			氏名					
検 査 担 当 (指定検査員)	所属			氏名					
評 価 項 目		監督員 評定点 ①	主任監督員 評定点 ②	検査担当 評定点 ③	業務評定 (※1) ④ (評定点/満点)	技術者評定⑤ (※1)			
						管理技術者 (評定点/満点)	担当技術者 (評定点/満点)	照査技術者 (評定点/満点)	
実施能力 の評価	実施体制と執行計画				①*0.4+②*0.2+ ③*0.4+12	/ 20	/ 5	/ 5	-
実施状況 の評価	執行管理		-	-	①*0.4+3	/ 5	/ 5	/ 5	-
	品質管理		-		①*0.4+③ *0.4+12	/ 20	/ 30	/ 30	/ 50
	業務特性	-		-	②*0.2+6	/ 10	/ 12.5	/ 12.5	-
	創意工夫		-	-	①*0.4+2.4	/ 4	/ 4	/ 4	-
説明調整能力 の評価	説明調整能力		-	-	①*0.4+3.6	/ 6	/ 6	/ 6	-
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	-		-	②*0.2+3	/ 5	/ 7.5	/ 7.5	-
成果品の品質			-		①*0.4+③ *0.4+18	/ 30	/ 30	/ 30	/ 50
⑥ 小計		-		-		/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
⑦ 事故等による減点		-		-		/	/	/	/
⑧ 瑕疵修補又は 損害賠償による減点		-		-		/	/	/	/
⑨ 総合評定点=⑥+⑦+⑧						/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
所 見									
監督員		主任監督員			検査担当 (指定検査員)				

※1 「④」及び「⑤」の各評価項目は小数第二位を四捨五入して表示している。
※2 「⑥」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

工 事 成 績 表 (概略・予備設計業務(土木))

契約番号		業種		担当課					
業 務 名									
受 託 者									
契約金額			完了年月日	令和 年 月 日					
履行期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		検査確認日	令和 年 月 日					
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名									
監 督 員	所属			氏名					
主 任 監 督 員	所属			氏名					
検 査 担 当 (指定検査員)	所属			氏名					
評 価 項 目		監督員 評定点 ①	主任監督員 評定点 ②	検査担当 評定点 ③	業務評定 (※1) ④ (評定点/満点)	技術者評定⑤ (※1)			
						管理技術者 (評定点/満点)	担当技術者 (評定点/満点)	照査技術者 (評定点/満点)	
実施能力 の評価	実施体制と執行計画				①*0.4+②*0.2+ ③*0.4+12	/ 20	/ 5	/ 5	-
実施状況 の評価	執行管理		-	-	①*0.4+3	/ 5	/ 5	/ 5	-
	品質管理		-		①*0.4+③ *0.4+12	/ 20	/ 30	/ 30	/ 50
	業務特性	-		-	②*0.2+6	/ 10	/ 12.5	/ 12.5	-
	創意工夫		-	-	①*0.4+2.4	/ 4	/ 4	/ 4	-
説明調整能力 の評価	説明調整能力		-	-	①*0.4+3.6	/ 6	/ 6	/ 6	-
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	-		-	②*0.2+3	/ 5	/ 7.5	/ 7.5	-
成果品の品質			-		①*0.4+③ *0.4+18	/ 30	/ 30	/ 30	/ 50
⑥ 小計		-		-		/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
⑦ 事故等による減点		-		-		/	/	/	/
⑧ 瑕疵修補又は 損害賠償による減点		-		-		/	/	/	/
⑨ 総合評定点=⑥+⑦+⑧						/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
所 見									
監督員		主任監督員			検査担当 (指定検査員)				

※1 「④」及び「⑤」の各評価項目は小数第二位を四捨五入して表示している。
※2 「⑥」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

工 事 成 績 表（詳細設計業務(土木)）

契約番号		業種		担当課					
業 務 名									
受 託 者									
契約金額				完了年月日	令和 年 月 日				
履行期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日			検査確認日	令和 年 月 日				
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名									
監 督 員	所属			氏名					
主 任 監 督 員	所属			氏名					
検 査 担 当 (指定検査員)	所属			氏名					
評 価 項 目		監督員 評定点 ①	主任監督員 評定点 ②	検査担当 評定点 ③	業務評定 (※1) ④ (評定点/満点)	技術者評定⑤ (※1)			
						管理技術者 (評定点/満点)	担当技術者 (評定点/満点)	照査技術者 (評定点/満点)	
実施能力 の評価	実施体制と執行計画				①*0.4+②*0.2+ ③*0.4+12	/ 20	/ 5	/ 5	-
実施状況 の評価	執行管理		-	-	①*0.4+3	/ 5	/ 5	/ 5	-
	品質管理		-		①*0.4+③ *0.4+12	/ 20	/ 30	/ 30	/ 50
	業務特性	-		-	②*0.2+6	/ 10	/ 12.5	/ 12.5	-
	創意工夫		-	-	①*0.4+2.4	/ 4	/ 4	/ 4	-
説明調整能力 の評価	説明調整能力		-	-	①*0.4+3.6	/ 6	/ 6	/ 6	-
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	-		-	②*0.2+3	/ 5	/ 7.5	/ 7.5	-
成果品の品質			-		①*0.4+③ *0.4+18	/ 30	/ 30	/ 30	/ 50
⑥ 小計		-	0	-		/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
⑦ 事故等による減点		-		-		/	/	/	/
⑧ 瑕疵修補又は 損害賠償による減点		-		-		/	/	/	/
⑨ 総合評定点=⑥+⑦+⑧		0	0	0		/ 100	/ 100	/ 100	/ 100
所 見									
監督員		主任監督員			検査担当 (指定検査員)				

※1 「④」及び「⑤」の各評価項目は小数第二位を四捨五入して表示している。
※2 「⑥」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

工 事 成 績 表（建築設計業務）

契 約 番 号		業 種		担当課				
業 務 名								
受 託 者								
契 約 金 額				総括責任者				
履 行 期 間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日			検査確認日	令和 年 月 日			
監 督 員	所属			氏名				
主任監督員	所属			氏名				
検 査 担 当 (指定検査員)	所属			氏名				
監督員比率	監督員 %			主任監督員 %				
業務分野(比率)	建築【 % 】			電気【 % 】		機械【 % 】		
	意匠 %	構造 %	積算 %	設計 %	積算 %	設計 %	積算 %	
考査項目					監督員 評定	主任監督 員評定	検査担当 評定	業務評定
項目	細別	評価の視点						
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制・自主管理						
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握						
		工程管理（全体）						
		取組姿勢、責任感の強さ						
		説明力（プレゼンテーション力）、協調性						
	主任担当技術者能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整						
		工程管理						
		取組姿勢、責任感の強さ						
		説明力（プレゼンテーション力）、協調性						
	業務の実施状況	業務履行中の説明資料（途中成果物）に関する評価	記載の程度					
途中成果物の内容								
調整及び説明、対応の迅速性		打合せ内容の理解、記録						
		指示、協議事項への対応						
		設計提案等の説明（プレゼンテーション力）※						
与条件の理解、業務への反映（設計提案）		与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討						
		仕様書、基準類の理解						
		施工に関する一般的な知識						
		創意工夫、積極的な提案※						
		専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整※						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度						
		成果物の内容						
		資料等の整理、指示、協議事項への対応						
	課題への対応※	物理的条件、社会的条件※						
		要望、コスト※						
4加点小計(1+2+3)								
5加点計（35×加点小計÷47）								
6評定点計（加点計+65）								
7業務執行に係る過失に伴う減点								
8業務完了後に生じた事由による減点								
9 評定点合計								
所 見								
監督員		主任監督員			検査担当（指定検査員）			

※印の考査項目については「創意工夫の余地が大きい業務」に対して評価する。
※「創意工夫の余地が小さい業務」については4 加点小計が「35」となるため、4 加点小計と 5 加点計は同じです。

工 事 成 績 表（工事監理業務）

契約番号		業種		担当課	課	
業 務 名	業務					
受 託 者						
契約金額				完了年月日	令和 年 月 日	
履行期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日			検査確認日	令和 年 月 日	
管理技術者氏名	(※1)					
担当技術者氏名	(※1)					
監 督 員	所属 課			氏名		
主 任 監 督 員	所属 課			氏名		
検 査 担 当 (指定検査員)	所属 課			氏名		
考査項目		監督員 評定点	主任監督員 評定点	検査担当 評定点	業務評定 管理技術者評定 (※2)	担当技術者評定 (※2)
項目	細別					
専門技術力	目的と内容の理解		-	-	/ 6	/ 8.8
	的確な履行		-	-	/ 36	/ 52.9
	業務目的の達成度		-		/ 18	/ 26.5
管理技術力	業務実施体制の的確性		-		/ 12	-
	打合せ内容の理解		-	-	/ 6	-
	指揮系統の迅速性、確実性			-	/ 14	-
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点			-	/ 8	/ 11.8
① 小計(※3)					/ 100	/ 100
② 業務執行に係る過失に伴う減点		-		-		
③ 事故等による減点		-		-		
④ 瑕疵修補又は損害賠償による減点		-		-		
総合評定点=①+②+③+④						
所 見						
監督員		主任監督員		検査担当（指定検査員）		

※1 管理技術者及び担当技術者が複数名配置されている場合は、全て記載する。

※2 各評価項目の「業務評定」「管理技術者評定」「担当技術者評定」は、小数第二位を四捨五入して表示している。

※3 「①小計」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

業務名：

業務名：

考 査 項 目		細 別		選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
							5	—	2.5	—	0	-2.5	-5
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ ☐ 6. 業務の実施方針における検討方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順、手法である。 ☐ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100 ☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。											

考 査 項 目		細 別		選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
							5	—	2.5	—	0	-2.5	-5
実施状況の評価	執行管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 2. 契約締結後すみやかに設計業務等に着手している。 ☐ ☐ 3. TECRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☐ ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ ☐ 10. 業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ ☐ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 15. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後10日以内に返却されている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 ☐ ☐ 20. その他（ ）（対象：管理、担当技術者） ◎評定は1～20のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100										☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（測量業務）

業務名：

		(監督員 3／6)										
考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	—	5	—	0	-5	-10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	—	14	—	0	-14	-28	
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1．業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ ☐ 2．業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の確認を得ている。 ☐ ☐ 3．技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 4．測量精度向上のための社内基準等を設けている。 ☐ ☐ 5．業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 6．資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 7．過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 8．照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 9．管理技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 ☐ ☐ 10．実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 11．測量の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 12．照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 13．履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 14．資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 監督職員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 15．その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～15のうち 評価値が90％以上・・・・・・・・・・a 評価値が70％以上90％未満・・・・・・・・・・b 評価値が70％未満・・・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(％)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (％)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100									☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目		細 別		選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
実施状況の評価	創意工夫	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ ☐ 3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ ☐ 4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。 ☐ ☐ 5. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述 () ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、4点(a)、3点(a')、2点(b)、1点(b')、0点(c)で評価する。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点(a)の加算評価も可) ●評価点4点(a)、3点(a')、2点(b)、1点(b')、0点(c) を入力してください 点 *業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。											

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目		細 別		業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
		選択 区分	評価 区分		6	—	3	—	0	-3	-6	
説明調整能力の 評価	説明調整能力	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 ☐ ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ☐ ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ ☐ 6. 測量業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☐ ☐ 8. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が滞滞なく報告されている。 ☐ ☐ 9. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ ☐ 10. 車輛の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ ☐ 11. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～11のうち 評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100									☐ 説明調整について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 説明調整について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考査項目別採点基準表（測量業務）

業務名：

(監督員 6／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	—	5	—	0	-5	-10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	—	6	—	0	-6	-12	
成果品の品質	成果品の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 ☐ ☐ 2. 現地調査等の結果が、写真や図面等によりの確にとりまとめられている。 ☐ ☐ 3. 写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ☐ ☐ 4. 調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 ☐ ☐ 5. 調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 ☐ ☐ 6. 多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し、必要な作業（業務）成果が得られた。 ☐ ☐ 7. 業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。 ☐ ☐ 8. その他（） ◎評価は1～8のうち 評価値が90％以上・・・・・・・・・・a 評価値が70％以上90％未満・・・・・・・・b 評価値が70％未満・・・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100									☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目		細 別		業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
選択 区分	評価 区分										
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 2. 管理技術者は、関連のある設計業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ ☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 ☐ ☐ 6. その他 () ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、－5点(d)、－10点(e)で評価する。 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として監督員(検査員)細別評価項目において－5点(d)または－10点(e)評価があった場合、－5点(d)評価以下とし「その他」に理由を記載すること。 ●評価点10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、－5点(d)、－10点(e)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。									

業務名：

業務名：

業務名：

※評価点20点(a), 15点(a'), 10点(b), 7.5点(b'), 0点(c)を入力してください											
※業務評定、管理技術者の評価に反映。											
※評価点25点(a), 19点(a'), 12.5点(b), 7点(b'), 0点(c)を入力してください											
※担当技術者の評価に反映。											

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
取組姿勢	責任感・積極性・ 倫理観				10	7.5	5	2.5	0	—	—
					a	a'	b	b'	c	d	e
					15	12	7.5	4	0	—	—

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目		細 別		業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
選択 区分	評価 区分				10	—	5	—	0	-5	-10	
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。 ☐ ☐ 2. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☐ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図式等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 5. 業務計画書の記載内容と測量方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。 ☐ ☐ 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理を行い、かつ、委託先の成果品に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. その他 () ◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・ b 評価値が70%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100									☐ 実施体制と執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制と執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（測量業務）

業務名：

(検査担当 2 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	—	5	—	0	-5	-10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	—	10	—	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	—	6	—	0	-6	-12
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書の内容を十分点検している。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして適切に照査を実施している。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書にとりまとめ、照査技術者捺印のうえ管理技術者に提出している。 ☐ ☐ 5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。 ☐ ☐ 6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 7. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 ☐ ☐ 8. 業務遂行にあたり、チェックシート等を作成し、作業中のミス防止の実施に努めている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・ b 評価値が70%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100							☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。	

☐

☐

4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書にとりまとめ、照査技術者捺印のうえ管理技術者に提出している。

☐

☐

5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。

☐

☐

6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。

☐

☐

7. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。

☐

☐

8. 業務遂行にあたり、チェックシート等を作成し、作業中のミス防止の実施に努めている。

☐

☐

9. その他 () (対象：管理、担当技術者)

◎評価は1～9のうち
評価値が90%以上 a
評価値が70%以上90%未満 b
評価値が70%未満 c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。

③ 評価値 (%)＝該当項目数 () / 評価対象項目数 () ×100

考查項目別採点基準表（測量業務）

業務名：

(検査担当 3 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	—	10	—	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	—	14	—	0	-14	-28
成果品の品質	成果品の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすい整理されている。 ☐ ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。 ☐ ☐ 4. 現地踏査の結果より判明した調査、計画上の対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ ☐ 5. 作業（業務）遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 6. 必要書類等が整備されていた。 ☐ ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどが無い。 ☐ ☐ 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 ☐ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい説明となっている。 ☐ ☐ 10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☐ ☐ 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☐ ☐ 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ ☐ 13. 成果品は、独自に設定した社内基準を満足し、測量精度の向上に繋がったものである。 ☐ ☐ 14. その他 () ◎評価は1～14のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・ b 評価値が70%未満・・・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100								☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

(監督員 1 / 6)

考 査 項 目	細 別	選 択	評 価	業 務、管 理、	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区 分	区 分	担 当 技 術 者	5	—	2.5	—	0	-2.5	-5	
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目									☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ ☐ 6. 業務の実施方針における検討方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法である。 ☐ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100										

考査項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

(監督員 2／6)

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、管理、	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区分	区分	担当技術者	5	—	2.5	—	0	-2.5	-5	
実施状況の評価	執行管理	●評価対象項目									☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 2. 契約締結後すみやかに設計業務等に着手している。 ☐ ☐ 3. TECRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☐ ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 12. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 13. 第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後10日以内に返却されている。 ☐ ☐ 15. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 17. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 18. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 ☐ ☐ 19. その他 ()（対象：管理、担当技術者） ◎評価は1～19のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100										

考查項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

(監督員 3／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	21	14	7	0	-14	-28
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ ☐ 2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の確認を得ている。 ☐ ☐ 3. 技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 4. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 5. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 6. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 7. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 8. 管理技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 ☐ ☐ 9. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 10. 調査の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 11. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 12. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 13. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 監督職員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 14. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評定は1～14のうち 評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100 ☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。									

考查項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

(監督員 4／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					4	3	2	1	0	－	－
実施状況の評価	創意工夫	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ ☐ 3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ ☐ 4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。 ☐ ☐ 5. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、4点(a)，3点(a')，2点(b)，1点(b')，0点(c)で評価する。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 （例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点の加算評価も可） ●評価点4点(a)，3点(a')，2点(b)，1点(b')，0点(c) を入力してください 点 *業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。									

考査項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

(監督員 5／6)

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、管理、	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区分	区分	担当技術者	6	—	3	—	0	-3	-6	
説明調整能力の 評価	説明調整能力	●評価対象項目									☐ 説明調整について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 説明調整について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価)										
		☐ ☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。										
		☐ ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。										
		☐ ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。										
		☐ ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。										
		☐ ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。										
		☐ ☐ 6. 地質・土質調査業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。										
		☐ ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。										
		☐ ☐ 8. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。										
		☐ ☐ 9. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。										
		☐ ☐ 10. 車輛の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。										
		☐ ☐ 11. その他 () (対象：管理、担当技術者)										
		◎評定は1～11のうち										
		評価値が90%以上・・・・・・・・a										
		評価値が70%以上90%未満・・・・b										
		評価値が70%未満・・・・・・・・c										
		①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100										

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

◎評定は1～11のうち
評価値が90％以上・・・・・・・・・・a
評価値が70％以上90％未満・・・・・・・・b
評価値が70％未満・・・・・・・・・・c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(％)計算の値で評価する。

③ 評価値 (％)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100

☐

☐

☐

☐

(別紙2-2)

考查項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

(監督員 6 / 6)

考 査 項 目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				照査技術者	10	—	5	—	0	-5	-10	
					a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	—	6	—	0	-6	-12	
成果品の品質	成果品の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 ☐ ☐ 2. 調査地点等の結果が、写真や図面等によりの確にとりまとめられている。 ☐ ☐ 3. 写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。 ☐ ☐ 4. 調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。 ☐ ☐ 5. 調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。 ☐ ☐ 6. 多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し、必要な作業（業務）成果が得られた。 ☐ ☐ 7. 業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。 ☐ ☐ 8. その他 () ◎評定は1～8のうち 評価値が90％以上・・・・・・a 評価値が70％以上90％未満・・・・・・b 評価値が70％未満・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100									☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

(別紙2-2)

考查項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

(主任監督員 1 / 3)

考 査 項 目	細 別	選 択	評 価	業 務、	a	a'	b	b'	c	d	e
		区 分	区 分	管 理 技 術 者	10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 2. 管理技術者は、関連のある設計業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ ☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 ☐ ☐ その他 () ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、－5点(d)、－10点(e)で評価する。 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として監督員(検査員)細別評価項目において－5点(d)または－10点(e)評価があった場合、－5点(d)評価以下とし「その他」に理由を記載すること。 ●評価点10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、－5点(d)、－10点(e)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。									

(主任監督員 2 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
				管理技術者	20	15	10	7.5	0	—	—
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	—	—
実施状況の評価	業務特性	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。 ☐ ☐ 2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。 ☐ ☐ 3. 厳しい自然、条件への対応が評価できる。 ☐ ☐ 4. 業務の特殊性への対応が評価できる。 ☐ ☐ 5. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。 ☐ ☐ 6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。 ☐ ☐ 7. その他 () ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば業務評定、管理技術者は7.5点(b')，担当技術者は7点(b')評価以上とする。 業務評定、管理技術者は20点(a)，15点(a')，10点(b)，7.5点(b')，0点(c)で評価する。 担当技術者は25点(a)，19点(a')，12.5点(b)，7点(b')，0点(c)で評価する。 ●評価点20点(a)，15点(a')，10点(b)，7.5点(b')，0点(c)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●評価点25点(a)，19点(a')，12.5点(b)，7点(b')，0点(c)を入力してください 点 *担当技術者の評価に反映。									

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
				管理技術者	10	7.5	5	2.5	0	—	—
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					15	12	7.5	4	0	—	—
取組姿勢	責任感・積極性・倫理観	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務遂行にあつて、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 5. その他 () ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a～c評価を行う。 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は「a」評価も可) ●評価点10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●評価点15点(a), 12点(a'), 7.5点(b), 4点(b'), 0点(c)を入力してください 点 *担当技術者の評価に反映。									

考查項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

考 査 項 目		細 別		選択区分	評価区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
							10	—	5	—	0	-5	-10

実施能力の評価

実施体制と執行計画

●評価対象項目

(選択) (評価)

☐

☐

1. 管理技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。

☐

☐

2. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。

☐

☐

3. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。

☐

☐

4. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図式等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。

☐

☐

5. 業務計画書の記載内容と測量方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。

☐

☐

6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理を行い、かつ、委託先の成果品に対する照査を行っていることが書面で確認できる。

☐

☐

7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載している。

☐

☐

8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載している。

☐

☐

9. その他 ()

◎評価は1～9のうち
評価値が90%以上 a
評価値が70%以上90%未満 b
評価値が70%未満 c

①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。

③ 評価値 (%)＝該当項目数 () / 評価対象項目数 () ×100

☐ 実施体制と執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。

☐ 実施体制と執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（地質調査業務）

業務名：

(検査担当 2 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	—	5	—	0	-5	-10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	—	10	—	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	—	6	—	0	-6	-12
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書の内容を十分点検している。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして適切に照査を実施している。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書にとりまとめ、照査技術者捺印のうえ管理技術者に提出している。 ☐ ☐ 5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。 ☐ ☐ 6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 7. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 ☐ ☐ 8. 業務遂行にあたり、チェックシート等を作成し、作業中のミス防止の実施に努めている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・ b 評価値が70%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100 ☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。									

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

◎評価は1～9のうち

評価値が90%以上 a

評価値が70%以上90%未満 b

評価値が70%未満 c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () × 100

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				照査技術者	20	—	10	—	0	-10	-20
					a	a'	b	b'	c	d	e
					28	—	14	—	0	-14	-28
成果品の品質	成果品の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすい整理されている。 ☐ ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。 ☐ ☐ 4. 調査地点の確認の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ ☐ 5. 作業（業務）遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 6. 必要書類等が整備されていた。 ☐ ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどが無い。 ☐ ☐ 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 ☐ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい説明となっている。 ☐ ☐ 10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☐ ☐ 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☐ ☐ 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ ☐ 13. 成果品は、独自に設定した社内基準を満足し、測量精度の向上に繋がったものである。 ☐ ☐ 14. その他 () ◎評定は1～14のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・ b 評価値が70%未満・・・・・・ c								☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100											

(監督員 1 / 6)

考 査 項 目	細 別	選 択	評 価	業 務、管 理、	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区 分	区 分	担 当 技 術 者	5	—	2.5	—	0	-2.5	-5	
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目									☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ ☐ 6. 業務の実施方針における検討方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法である。 ☐ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100										

考査項目別採点基準表（単純調査業務）

業務名：

(監督員 2／6)

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、管理、	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区分	区分	担当技術者	5	—	2.5	—	0	-2.5	-5	
実施状況の評価	執行管理	●評価対象項目									☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 2. 契約締結後すみやかに設計業務等に着手している。 ☐ ☐ 3. TECRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☐ ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 支給材料がある場合、その受払状況を登録した帳簿を備え付け、常にその残高を明らかにし、業務完了時には支給品精算書を提出している。 ☐ ☐ 10. 業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 11. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ ☐ 12. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 13. 貸与された図書及び関係資料は、必要がなくなった場合にただちに返却されている。 ☐ ☐ 14. 第三者の土地等の立ち入りにあたって、トラブルの発生がないように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 15. 第三者の土地への立ち入りにあたって交付を受けた身分証明書は、立入完了後10日以内に返却されている。 ☐ ☐ 16. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 17. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 18. 設計図書に基づき、適切な時期に履行状況報告が提出されている。 ☐ ☐ 19. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督職員に提出している。 ☐ ☐ 20. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～20のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100										

☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。

☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考査項目別採点基準表（単純調査業務）

業務名：

(監督員 3／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	—	5	—	0	-5	-10
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	—	14	—	0	-14	-28
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務の実施にあたり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ ☐ 2. 業務の実施にあたり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の確認を得ている。 ☐ ☐ 3. 技術基準等がない項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 4. 調査等の精度向上のための社内基準等を設けている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施にあたり、調査地点の確認を行い、業務実施に必要な現地の状況を把握している。 調査地点の確認に際しては、調査対象項目を整理し、監督職員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 6. 資料の提出時に、転記・計算ミスがなく内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 7. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 8. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 9. 管理技術者が業務実施に必要な情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるか について照査が行われている。 ☐ ☐ 10. 実施方針や方法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 11. 調査の正確性、適切性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 12. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 13. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行った。もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 14. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 監督職員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 15. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～15のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100 ☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。									

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、管理、	a	a'	b	b'	c	d	e
		区分	区分	担当技術者	4	3	2	1	0	—	—
実施状況の評価	創意工夫	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 2. 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ ☐ 3. 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ ☐ 4. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、分かりやすく、説明しやすい。 ☐ ☐ 5. 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述 () ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、4点(a)、3点(a')、2点(b)、1点(b')、0点(c)で評価する。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点の加算評価も可) ●評価点4点(a)、3点(a')、2点(b)、1点(b')、0点(c) を入力してください 点 *業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。									

考查項目別採点基準表（単純調査業務）

業務名：

(監督員 5／6)

考 査 項 目	細 別	選択区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				6	—	3	—	0	-3	-6	
説明調整能力の評価	説明調整能力	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務の作業効率、精度を向上させる提案が自主的に行われた。 ☐ ☐ 2. 業務の遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告された。 ☐ ☐ 3. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ ☐ 4. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ ☐ 5. 打合せ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ ☐ 6. 調査業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ ☐ 7. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☐ ☐ 8. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 ☐ ☐ 9. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ ☐ 10. 車輛の運転・駐車にあたって地元住民に配慮し、苦情等がなかった。 ☐ ☐ 11. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評定は1～11のうち 評価値が90％以上・・・・a 評価値が70％以上90％未満・・・・b 評価値が70％未満・・・・c						☐ 説明調整について、監督員が文書で改善指示を行った。		☐ 説明調整について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。	
		①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率 (％) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (％) ＝ 該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () × 100									

☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐

◎評価は1～11のうち

評価値が90％以上・・・・・・・・・・a

評価値が70％以上90％未満・・・・・・・・b

評価値が70％未満・・・・・・・・・・c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(％)計算の値で評価する。

③ 評価値 (％)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100

考查項目別採点基準表（単純調査業務）

業務名：

(監督員 6／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				照査技術者	10	—	5	—	0	-5	-10
					a	a'	b	b'	c	d	e
					12	—	6	—	0	-6	-12
成果品の品質	成果品の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 ☐ ☐ 2. 現地調査等の結果が、写真や図面等により的確にとりまとめられている。									

☐

☐

3. 写真管理が適切に行われ、状況が容易に把握できる。

☐

☐

4. 調査結果のとりまとめにおいて、ミスがなかった。

☐

☐

5. 調査結果がわかりやすく整理され、工夫が見られる。

☐

☐

6. 多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し、必要な作業（業務）成果が得られた。

☐

☐

7. 業務報告書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説されとりまとめられている。

☐

☐

8. その他 ()

◎評価は1～8のうち

評価値が90％以上・・・・・・・・a

評価値が70％以上90％未満・・・・b

評価値が70％未満・・・・・・・・c

①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。

③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100

 ☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。 | ☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。 |

(別紙2-3)

考查項目別採点基準表（単純調査業務）

業務名：

(主任監督員 1 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	業務、 管理技術者		a	a'	b	b'	c	d	e
			評価 区分		10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 2. 管理技術者は、関連のある設計業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ ☐ 4. 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 ☐ ☐ 6. その他 () ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、-5点(d)、-10点(e)で評価する。 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として監督員(検査員) 細別評価項目において-5点(d)または-10点(e)評価があった場合、-5点(d)評価以下とし「その他」に理由を記載すること。 ●評価点10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、-5点(d)、-10点(e)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。									

業務名：

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
				管理技術者	20	15	10	7.5	0	—	—
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				25	19	12.5	7	0	—	—	

実施状況の評価	業務特性	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が評価できる。 ☐ ☐ 2. 都市部等の作業環境、社会条件等への対応が評価できる。 ☐ ☐ 3. 厳しい自然、条件への対応が評価できる。 ☐ ☐ 4. 業務の特殊性への対応が評価できる。 ☐ ☐ 5. 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が評価できる。 ☐ ☐ 6. 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、評価できる。 ☐ ☐ 7. その他 () ※上記の対応事項に 1 つ以上レ点が付けば業務評定、管理技術者は7.5点(b')，担当技術者は7点(b')評価以上とする。 業務評定、管理技術者は20点(a)，15点(a')，10点(b)，7.5点(b')，0点(c)で評価する。 担当技術者は25点(a)，19点(a')，12.5点(b)，7点(b')，0点(c)で評価する。 ●評価点20点(a)，15点(a')，10点(b)，7.5点(b')，0点(c)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●評価点25点(a)，19点(a')，12.5点(b)，7点(b')，0点(c)を入力してください 点 *担当技術者の評価に反映。									

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
				管理技術者	10	7.5	5	2.5	0	—	—
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					15	12	7.5	4	0	—	—
取組姿勢	責任感・積極性・倫理観	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務遂行にあつて、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 2. 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 3. 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 4. 地域への貢献等に関して、評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 5. その他 () ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して業務評定、管理技術者は10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)で評価する。 担当技術者は15点(a)、12点(a')、7.5点(b)、4点(b')、0点(c)で評価する。 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は業務評定、管理技術者は10点(a)、担当技術者は15点(a)評価も可) ●評価点10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)を入力してください 点 ＊業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●評価点15点(a)、12点(a')、7.5点(b)、4点(b')、0点(c)を入力してください 点 ＊担当技術者の評価に反映。									

考查項目別採点基準表（単純調査業務）

業務名：					(検査担当 1／3)						
考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	-5	-10
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、業務遂行段階で適切に照査技術者による照査を受け、その内容を把握して円滑な業務遂行に努めている。 ☐ ☐ 2. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☐ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図式等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 5. 業務計画書の記載内容と測量方法が一致し、現地環境を乱さず調査していることが確認できる。 ☐ ☐ 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理を行い、かつ、委託先の成果品に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. その他 () ◎評価は1～9のうち 評価値が90％以上・・・・・・・・ a 評価値が70％以上90％未満・・・・ b 評価値が70％未満・・・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100								☐ 実施体制と執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制と執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（単純調査業務）

業務名：

(検査担当 2 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				担当技術者	10	—	5	—	0	-5	-10
					a	a'	b	b'	c	d	e
				照査技術者	20	—	10	—	0	-10	-20
					a	a'	b	b'	c	d	e
				12	—	6	—	0	-6	-12	
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書の内容を十分点検している。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして業務の節目においてその成果の確認を行うとともに、自身による照査を行っている。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印の上、管理技術者に提出している。 ☐ ☐ 5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。 ☐ ☐ 6. 「業務計画書」において成果品の品質を確保する記述があり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 7. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 ☐ ☐ 8. 業務遂行にあたり、チェックシート等を作成し、作業中のミス防止の実施に努めている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () × 100								☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

(検査担当 3 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	—	10	—	0	-10	-20
成果品の品質	成果品の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすい整理されている。 ☐ ☐ 3. 設計業務への引き継ぎ事項、技術的ポイントが整理されている。 ☐ ☐ 4. 現地踏査の結果より判明した対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ ☐ 5. 作業（業務）遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 6. 必要書類等が整備されていた。 ☐ ☐ 7. 誤字・脱漏、記載ミスなどが無い。 ☐ ☐ 8. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 ☐ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい説明となっている。 ☐ ☐ 10. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☐ ☐ 11. 成果品に引用されている図表、写真等は著作権に配慮されたものとなっている。 ☐ ☐ 12. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ ☐ 13. 成果品は、独自に設定した社内基準を満足し、測量精度の向上に繋がったものである。 ☐ ☐ 14. その他 () ◎評価は1～14のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・ b 評価値が70%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100								☐ 成果品について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果品について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5	—	2.5	—	0	-2.5	-5
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目									☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。 ☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ ☐ 6. 業務の実施方針における検討方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、他の手本となすべく優れたものである。 ☐ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100									

(別紙2-4)

考查項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

(監督員 2 / 6)

考 査 項 目	細 別	選 択	評 価	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区分	区分		5	—	2.5	—	0	-2.5	-5	
実施状況の評価	執行管理	●評価対象項目									☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 2. 契約締結後すみやかに設計業務等に着手している。 ☐ ☐ 3. TECRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☐ ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 12. 第三者の土地等への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 13. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 14. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 15. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 ☐ ☐ 16. その他 () （対象：管理、担当技術者） ◎評定は1～16のうち 評価値が90%以上・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100										

調査項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

(監督員 3／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	21	14	7	0	-14	-28
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 3. 現地の状況に対応した調査方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ☐ ☐ 4. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 5. 業務の実施に当たり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。 使用にあたって、事前に監督職員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 6. 業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ ☐ 7. 計算、集計整理、データ作成、図面等の内容が、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 8. 業務の実施に当たり、現地踏査を行い業務実施に必要な現地の状況を把握している。 ☐ ☐ 9. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、 監督職員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 10. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、 監督員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 11. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 12. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 13. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 14. 当該業務における調査・計画の留意点が、調査・計画方法の内容に考慮され的確に提案されている。 ☐ ☐ 15. 調査成果のとりまとめ、集計整理が、設計図書に定める又は監督職員の指示する業務の節目毎に、 適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 16. 事業特性、地域特性等が、調査、予測及び照査の手法の選定に考慮されているかの評価が適正に行われている。 ☐ ☐ 17. 評価項目の選定について、適切な評価項目が提案され、適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 18. 調査結果等の解析が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 19. その他 () (対象：管理、担当、照査技術者) ◎評定は1～23のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100								☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

(別紙2-4)

調査項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名： (監督員 4 / 6)

業務名： (監督員 4 / 6)

考 査 項 目	細 別	選 択	評 価	業 務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
		区分	区分		4	3	2	1	0	—	—
実施状況の評価	創意工夫	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ ☐ 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ ☐ 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。 具体記述 () ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、1点から4点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点の加算評価も可) ●評価点4点(a)、3点(a')、2点(b)、1点(b')、0点(c) を入力してください 点 *業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。									

考查項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：		(監督員 5／6)									
考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					6	－	3	－	0	-3	-6
説明調整能力の 評価	説明調整能力	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ ☐ 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ ☐ 3. 打ち合わせ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ ☐ 4. 設計業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ ☐ 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☐ ☐ 6. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 ☐ ☐ 7. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ ☐ 8. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～8のうち 評価値が90％以上・・・・a 評価値が70％以上90％未満・・・・b 評価値が70％未満・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100								☐ 説明調整について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 説明調整について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

◎評価は1～8のうち

評価値が90％以上・・・・・・・・・・a

評価値が70％以上90％未満・・・・・・・・b

評価値が70％未満・・・・・・・・・・c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(％)計算の値で評価する。

③ 評価値 (％)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100

考査項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

(監督員 6／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	9	6	3	0	-6	-12	
成果物の品質	成果物の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 ☐ ☐ 2. 現地調査等の結果が、写真や図面等により的確にとりまとめられている。 ☐ ☐ 3. 成果等の取りまとめにおいて、ミスがなかった。 ☐ ☐ 4. 業務成果は、特記仕様書、各調査業務及び計画業務の共通仕様書の各章の該当条文に定めた内容で的確にとりまとめられている。 ☐ ☐ 5. 業務報告書の作成にあたり、その検討・解析結果等を特記仕様書に定められた調査・計画項目に対応させ、その検討・解析等の過程と共に、的確にとりまとめられている。 ☐ ☐ 6. 調査、検討、解析に使用した理論、公式の引用、文献などが漏れなく記載されている。 ☐ ☐ 7. 検討、解析の計算過程がわかりやすく整理されている。 ☐ ☐ 8. 業務計画書で、成果品の品質を確保するための計画が記載され、漏れなく成果に反映されている。 ☐ ☐ 9. その他 () ◎評価は1～10のうち 評価値が90％以上・ ・ ・ ・ ・ a 評価値が80％以上90％未満・ ・ ・ ・ a' 評価値が70％以上80％未満・ ・ ・ ・ b 評価値が60％以上70％未満・ ・ ・ ・ b' 評価値が60％未満・ ・ ・ ・ ・ c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100									☐ 成果物について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果物について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

(主任監督員 1 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 管理技術者は、関連のある設計業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。									

☐☐☐☐☐☐☐☐

●判断基準

※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。
(業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施)※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。
(例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可)

※業務執行上の過失として監督員(検査員)細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし「その他」に理由を記載すること。

●評価点10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c), -5点(d), -10点(e)を入力してください

点

*業務評定、管理技術者の評価に反映。

考査項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：(主任監督員 2／3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	7.5	0	—	—
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				25	19	12.5	7	0	—	—	
実施状況の評価	業務特性	●評価対象項目 (選択) (評価) I 設計条件への対応 ☐ ☐ 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ 設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ 設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。 ☐ ☐ その他 () II 高度な技術力への対応 ☐ ☐ 設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる ☐ ☐ 委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ その他 () ※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば業務評定、管理技術者は7.5点(b')，担当技術者は7点(b')評価以上とする。 ●評価点20点(a)，15点(a')，10点(b)，7.5点(b')，0点(c)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●評価点25点(a)，19点(a')，12.5点(b)，7点(b')，0点(c)を入力してください 点 *担当技術者の評価に反映。									

考査項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

(主任監督員 3 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	—	—
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				15	12	7.5	4	0	—	—	
取組姿勢	責任感・積極性・倫理観	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 業務遂行にあって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して特に評価できるものがあった。 ☐ ☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど特に評価できるものがあった。 ☐ ☐ 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり特に評価できるものがあった。 ☐ ☐ その他 () ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a～c評価を行う。 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 （業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施） ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 （例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は「a」評価も可） ●評価点10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c)を入力してください 点 ＊業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●評価点15点(a), 12点(a'), 7.5点(b), 4点(b'), 0点(c)を入力してください 点 ＊担当技術者の評価に反映。									

考查項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

(検査担当 1 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	－	5	－	0	-5	-10
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目								☐ 実施体制と執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制と執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 ☐ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☐ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☐ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図式等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理行い、かつ、委託先の成果物に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. その他 () ◎評価は1～9のうち 評価値が90％以上・・・・・・ a 評価値が70％以上90％未満・・・・ b 評価値が70％未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100									

検査項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

(検査担当 2 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20	15	10	5	0	-10	-20
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					12	9	6	3	0	-6	-12
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書の内容を十分点検している。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして適切に照査を実施している。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書にとりまとめ、照査技術者捺印のうえ管理技術者に提出している。 ☐ ☐ 5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。 ☐ ☐ 6. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 (I S O 9 0 0 1 等の認証取得と成果への反映が確認される場合) ☐ ☐ 7. 調査・計画業務の誤りが無いよう、点検シートが作成され、シートに工夫が見られ内容も適切である。 ☐ ☐ 8. 「業務計画書」における「成果物の品質を確保するための計画」に記述された内容が適切であり、 かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、照査、担当技術者) ◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100								☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

☐

☐

4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書にとりまとめ、照査技術者捺印のうえ管理技術者に提出している。

☐

☐

5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。

☐

☐

6. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。
(ISO9001等の認証取得と成果への反映が確認される場合)

☐

☐

7. 調査・計画業務の誤りが無いよう、点検シートが作成され、シートに工夫が見られ内容も適切である。

☐

☐

8. 「業務計画書」における「成果物の品質を確保するための計画」に記述された内容が適切であり、
かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。

☐

☐

9. その他 () (対象：管理、照査、担当技術者)

◎評定は1～9のうち

評価値が90%以上・・・ a

評価値が80%以上90%未満・・・ a'

評価値が70%以上80%未満・・・ b

評価値が60%以上70%未満・・・ b'

評価値が60%未満・・・ c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100

☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。

☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考査項目別採点基準表（調査・計画業務）

業務名：

(検査担当 3 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	15	10	5	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	21	14	7	0	-14	-28	
成果物の品質	成果物の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 2. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすい整理されている。 ☐ ☐ 3. 調査・計画時の配慮事項、ポイントや品質を高めるための提案が別途、引き継ぎ事項として整理されている。 ☐ ☐ 4. 現地踏査の結果より判明した調査、計画上の対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ ☐ 5. 業務遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 6. 誤字・脱漏、記載ミスなどが無い。 ☐ ☐ 7. 理解しづらい文章表現などがなく、わかりやすい成果となっている。 ☐ ☐ 8. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい説明となっている。 ☐ ☐ 9. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☐ ☐ 10. 成果品のチェック方法に工夫が見られた。 ☐ ☐ 11. 成果品は、独自に設定した社内基準を満足し、精度の向上に繋がっている。 ☐ ☐ 12. その他 () ◎評価は1～12のうち 評価値が90%以上・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100									☐ 成果物について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果物について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考 査 項 目	細 別	選択 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				5	—	2.5	—	0	-2.5	-5
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価)	☐ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ ☐ 6. 業務の実施方針における検討方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための的確な手順、手法であり、他の手本となすべく優れたものである。 ☐ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () × 100						☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

業務名：

(監督員 2／6)

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、管理、	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区分	区分	担当技術者	5	—	2.5	—	0	-2.5	-5	
実施状況の評価	執行管理	●評価対象項目									☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 2. 契約締結後すみやかに設計業務等に着手している。 ☐ ☐ 3. TECRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☐ ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 12. 第三者の土地等への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 13. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 14. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 15. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 ☐ ☐ 16. その他（ ）（対象：管理、担当技術者） ◎評定は1～16のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100										

検査項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

業務名：

(監督員 3／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28	21	14	7	0	-14	-28
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 3. 基本条件の設定に対し、管理技術者が現地状況等の基本情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。 ☐ ☐ 4. 埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が反映されているかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 5. 設計方針及び設計手法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 6. 設計計算書、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 7. 受取対象物の照査のみならず、仮設工及びコスト削減、建設副産物対策の妥当性についても十分な照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 8. 現場条件に対応した施工方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ☐ ☐ 9. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 10. 業務の実施に当たり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に監督員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 11. 業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ ☐ 12. 設計業務等の実施に当たり、現地踏査を行い設計等に必要な現地の状況を把握している。 ☐ ☐ 13. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 14. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 15. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 16. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 17. 構造等について、維持管理が容易となるよう詳細な検討がされている。 ☐ ☐ 18. 構造及び維持管理の検討において、施設の長寿命化となる提案がされている。 ☐ ☐ 19. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 20. 当該現場の施工条件や環境特性などを的確に把握している。 ☐ ☐ 21. 当該現場における施工上の留意点が、重要度や施工段階を考慮し的確に提案されている。 ☐ ☐ 22. 仮設計画が施工条件を的確に踏まえて提案されている。 ☐ ☐ 23. その他 () (対象：管理、担当、照査技術者) ◎評価は1～23のうち 評価値が90％以上・・・a 評価値が80％以上90％未満・・・a' 評価値が70％以上80％未満・・・b 評価値が60％以上70％未満・・・b' 評価値が60％未満・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(％)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (％)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100								☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

◎評価は1～23のうち
評価値が90%以上・・・・・・・・ a
評価値が80%以上90%未満・・・・ a'
評価値が70%以上80%未満・・・・ b
評価値が60%以上70%未満・・・・ b'
評価値が60%未満・・・・・・・・ c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100

(別紙2-5)

考查項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

業務名：

(監督員 4 / 6)

考 査 項 目	細 別	選 択 区 分	評 価 区 分	業 務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
実施状況の評価	創意工夫				4	3	2	1	0	—	—
●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ ☐ 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ ☐ ライフサイクルコストや新技術の活用など総合的かつ有効的なコスト縮減の提案がなされている。 ☐ ☐ 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。具体記述 () ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、1点から4点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点の加算評価も可) ●評価点4点(a), 3点(a'), 2点(b), 1点(b'), 0点(c) を入力してください 点 *業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。											

考查項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

業務名：

(監督員 5／6)

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、管理、	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区分	区分	担当技術者	6	—	3	—	0	-3	-6	
説明調整能力の 評価	説明調整能力	●評価対象項目									☐ 説明調整について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 説明調整について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ ☐ 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ ☐ 3. 打ち合わせ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ ☐ 4. 設計業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ ☐ 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☐ ☐ 6. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 ☐ ☐ 7. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ ☐ 8. その他 () （対象：管理、担当技術者） ◎評価は1～8のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100										

考查項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

(監督員 6 / 6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					10	7.5	5	2.5	0	-5	-10	
成果物の品質	成果物の品質			業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				照査技術者	12	9	6	3	0	-6	-12	
成果物の品質	成果物の品質			●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計業務成果概要書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説しとりまとめられている。 ☐ ☐ 2. 設計計算書は、設計条件、出典根拠、計算プログラム、モデル図、アウトプットデータがわかりやすく整理されている。 ☐ ☐ 3. 設計図面は、特記仕様書に基づき、適切な縮尺、配置により必要事項が漏れなく記載されている。 ☐ ☐ 4. 数量計算書は、計算方法や計算手順が明確である。 ☐ ☐ 5. 概算工事費は、適用する積算基準書に基づき構成され、採用する単価が妥当である。 ☐ ☐ 6. 施工計画書は、工事実施に当たって必要な事項の基本的内容が記載されている。 ☐ ☐ 7. 現地踏査の結果が、写真や図面によりの確に整理されている。 ☐ ☐ 8. 数量計算書は、「土木工事数量算出要領（案）」に基づき、工種別、区間別に取りまとめられている。 ☐ ☐ 9. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 ☐ ☐ 10. その他（） ◎評価は1～10のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100							☐ 成果物について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果物について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

(主任監督員 1 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
		区分	区分	管理技術者	10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目									
		(選択) (評価) ☐ ☐ 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 管理技術者は、関連のある設計業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 ☐ ☐ 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ ☐ 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ ☐ 業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 ☐ ☐ その他 () ●判断基準 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として監督員(検査員)細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし「その他」に理由を記載すること。 ●評価点10点(a)、7.5点(a')、5点(b)、2.5点(b')、0点(c)、－5点(d)、－10点(e)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。									

考查項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

業務名：

(主任監督員 2 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				担当技術者	20	15	10	7.5	0	—	—
					a	a'	b	b'	c	d	e
					25	19	12.5	7	0	—	—

実施状況の評価
 業務特性

●評価対象項目
 (選択) (評価)

I 設計条件への対応

☐ ☐ 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が特に評価できる。
 ☐ ☐ 設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が特に評価できる。
 ☐ ☐ 設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。
 ☐ ☐ 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が特に評価できる。
 ☐ ☐ 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。
 ☐ ☐ その他 ()

 II 高度な技術力への対応

☐ ☐ 設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる
 ☐ ☐ 委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。
 ☐ ☐ その他 ()

※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば業務評定、管理技術者は7.5点(b')，担当技術者は7点(b')評価以上とする。

●評価点20点(a)，15点(a')，10点(b)，7.5点(b')，0点(c)を入力してください

点

 ＊業務評定、管理技術者の評価に反映。

●評価点25点(a)，19点(a')，12.5点(b)，7点(b')，0点(c)を入力してください

点

 ＊担当技術者の評価に反映。

(別紙2-5)

考查項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

業務名：

(主任監督員 3 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
				管理技術者	10	7.5	5	2.5	0	—	—
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					15	12	7.5	4	0	—	—
取組姿勢	責任感・積極性・ 倫理観	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 業務遂行にあって、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して特に評価できるものがあった。 ☐ ☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど特に評価できるものがあった。 ☐ ☐ 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり特に評価できるものがあった。 ☐ ☐ その他 () ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a～c評価を行う。 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は「a」評価も可) ●評価点10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。 点 *担当技術者の評価に反映。									

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者			c	d	e	
				a	a'	b				
				10	—	5	—	0	-5	-10
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目								
		(選択) (評価) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 ☐ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☐ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☐ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図式等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理行い、かつ、委託先の成果物に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. その他 () ◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が70%未満・・・・・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率 (%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100								
								☐ 実施体制と執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。		☐ 実施体制と執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					12	9	6	3	0	-6	-12	
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書の内容を十分点検している。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして適切に照査を実施している。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書にとりまとめ、照査技術者捺印のうえ管理技術者に提出している。 ☐ ☐ 5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。 ☐ ☐ 6. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 (ISO9001等の認証取得と成果への反映が確認される場合) ☐ ☐ 7. 現場発生材の発生抑制や利活用について検討され、成果に反映されている。 ☐ ☐ 8. 最適な施工計画の立案等により、コスト縮減が可能となる成果が得られている。 ☐ ☐ 9. 「業務計画書」における「成果物の品質を確保するための計画」に記述された内容が適切であり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 10. 最適な施工計画の立案、新技術、新工法の採用等により工期短縮が可能となる成果が得られている。 ☐ ☐ 11. その他 () (対象：管理、照査、担当技術者) ◎評価は1～11のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100									☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

審査項目別採点基準表（概略・予備設計業務（土木））

業務名：

(検査担当 3 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					20	15	10	5	0	-10	-20	
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e	
					28	21	14	7	0	-14	-28	
成果物の品質	成果物の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 現地条件・特性を踏まえた適切な仮設計画、施工方法等が施工計画書に的確に記載されている。 ☐ ☐ 2. 現地踏査の結果より判明した設計上対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ ☐ 3. 現場での施工における技術的ポイントが別途、引き継ぎ事項として整理されている。 ☐ ☐ 4. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 5. 業務遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 6. エコマテリアルの使用をはじめ、現場発生材の積極的な利活用を検討し、監督員と協議のうえ設計に反映させている。 ☐ ☐ 7. 堺市グリーン調達方針に基づき、物品使用の検討にあたって環境への負荷が少ない環境物品の採用をしている。 ☐ ☐ 8. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☐ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい説明となっている。 ☐ ☐ 10. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすい整理されている。 ☐ ☐ 11. コスト縮減の着目点、留意事項等において、詳細設計に向けた有益な提案がされている。 ☐ ☐ 12. 有用な新技術・新工法の検討がされ、施工品質向上を図る提案がされている。 ☐ ☐ 13. その他 () ◎評定は1～13のうち 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c ①「評価対象項目」のうち、(選択) のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100									☐ 成果物について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果物について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考 査 項 目	細 別	選 択	評 価	業 務、 管 理、	a	a'	b	b'	c	d	e
		区 分	区 分	担 当 技 術 者	5. 0	-	2. 5	-	0. 0	-2. 5	-5. 0
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されている。 ☐ ☐ 2. 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されている。 ☐ ☐ 3. 管理技術者は、契約図書等に基づき、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 4. 担当技術者は、設計図書等に基づき、適正に業務を実施している。 ☐ ☐ 5. 担当技術者は、優れた技術力や創意工夫をもって、業務の成果に貢献している。 ☐ ☐ 6. 業務の実施方針における検討方法は、本業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順、手法であり、他の手本となすべき優れたものである。 ☐ ☐ 7. 業務の実施体制は、業務内容に応じた適切な人員配置であり、業務の停滞や手戻りを生じさせず完了させた。 ☐ ☐ 8. 業務実施段階で判明した重要な事実等を速やかに変更業務計画書に反映し提出されている。 ☐ ☐ 9. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100								☐ 実施体制及び執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

(別紙2-6)

考查項目別採点基準表（詳細設計業務（土木））

業務名：

(監督員 2 / 6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					5.0	-	2.5	-	0.0	-2.5	-5.0
実施状況の評価	執行管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 業務工程表は、契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 2. 契約締結後すみやかに設計業務等に着手している。 ☐ ☐ 3. TECRISへの登録申請を監督員の確認を受けた上ですみやかに行っている。 ☐ ☐ 4. 監督員と連絡を密にとり、円滑な業務の実施に努めている。 ☐ ☐ 5. 監督員の指示事項に迅速に対応している。 ☐ ☐ 6. 打合せにおいて、業務の課題とその解決策の提案が優れている。 ☐ ☐ 7. 打合せにおいて、発注者が判断できる適切な資料の提示・提出がなされている。 ☐ ☐ 8. 打合せ記録簿は、必要事項が簡潔に整理されており、かつ、速やかに提出されている。 ☐ ☐ 9. 業務計画書の業務工程（表）は、クリティカルポイントが明確にされている。 ☐ ☐ 10. 業務の進捗を図るための工夫がなされている。 ☐ ☐ 11. 業務計画書に安全管理に係る項目があり、適切な内容の記述がある。 ☐ ☐ 12. 第三者の土地等への立ち入りにあたって、トラブルの発生が無いように適切な対応を行っている。 ☐ ☐ 13. 屋外作業において、第三者の安全確保に努めている。 ☐ ☐ 14. 屋外作業において、事故が発生しないよう作業員等に安全教育の徹底を図り、指導・監督に努めている。 ☐ ☐ 15. 休日、夜間に屋外作業を行う場合は、事前に理由を付した書面を監督員に提出している。 ☐ ☐ 16. その他（ ）（対象：管理、担当技術者） ◎評価は1～16のうち 評価値が90%以上・・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100								☐ 執行管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 執行管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（詳細設計業務（土木））

(監督員 3 / 6)

考 査 項 目	細 別	選択区分	評価区分	業務、管理、担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10. 0	7. 5	5. 0	2. 5	0. 0	-5. 0	-10. 0
				照査技術者	28. 0	21. 0	14. 0	7. 0	0. 0	-14. 0	-28. 0
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 照査計画において、発注者から指摘がなかった。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、業務の各照査段階において自身での照査を行い、照査後に発注者からの指摘がなかった。 ☐ ☐ 3. 基本条件の設定に対し、管理技術者が現地状況等の基本情報を収集して把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査が行われている。 ☐ ☐ 4. 埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が反映されているかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 5. 設計方針及び設計手法が適切であるかの照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 6. 設計計算書、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 7. 受取対象物の照査のみならず、仮設工及びコスト縮減、建設副産物対策の妥当性についても十分な照査が適正に行われている。 ☐ ☐ 8. 現場条件に対応した施工方法を複数提案し、総合的な判断に基づき決定されている。 ☐ ☐ 9. 資料の提出時に、転記・計算ミスが無く内容のチェックを行っている。 ☐ ☐ 10. 業務の実施に当たり、最新の技術基準及び参考図書並びに特記仕様書に基づき実施している。使用にあたって、事前に監督員の承諾を得ている。 ☐ ☐ 11. 業務の実施に当たり、設計図書に定める技術基準等について、十分に理解した上で適用している。 ☐ ☐ 12. 設計業務等の実施に当たり、現地踏査を行い設計等に必要な現地の状況を把握している。 ☐ ☐ 13. 現地踏査の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項を照合して、調査対象項目を整理し、監督員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 14. 資料収集の実施に際し、貸与資料や設計図書に示す設計事項と照合して、資料収集対象項目を整理し、監督員の承諾を得て実施している。 ☐ ☐ 15. 技術基準等が無い項目の取扱いが具体的に記述されている。 ☐ ☐ 16. 履行段階において、状況に応じた適切な対応を行い、もしくは提案がされている。 ☐ ☐ 17. 構造等について、維持管理が容易となるよう詳細な検討がされている。 ☐ ☐ 18. 構造及び維持管理の検討において、施設の長寿命化となる提案がされている。 ☐ ☐ 19. 過年度からの打合せ経緯や成果を踏まえた成果となっている。 ☐ ☐ 20. 当該現場の施工条件や環境特性などを的確に把握している。 ☐ ☐ 21. 当該現場における施工上の留意点が、重要度や施工段階を考慮し的確に提案されている。 ☐ ☐ 22. 仮設計画が施工条件を的確に踏まえて提案されている。 ☐ ☐ 23. その他 () (対象：管理、担当、照査技術者) ◎評定は1～23のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率 (％) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (％)＝該当項目数 () ÷ 評価対象項目数 () ×100								☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（詳細設計業務（土木））

業務名：

(監督員 4 / 6)

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、管理、	a	a'	b	b'	c	d	e
		区分	区分	担当技術者	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0	-	-
実施状況の評価	創意工夫	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされている。 ☐ ☐ 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案されている。 ☐ ☐ 品質管理のための照査体制を構築させ、有効的に機能している。 ☐ ☐ ライフサイクルコストや新技術の活用など総合的かつ有効的なコスト削減の提案がなされている。 ☐ ☐ 創意工夫、提案力等にかかる特筆すべき事項がある。@具体記述 (%%SONOTA1) ●判断基準 上記の項目のレ点の数により、1点から4点の加算評価とする。 ※ただし、特段の評価ができる場合は、レ点の数にとらわれず、評価する内容を総合的に判断して評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は4点の加算評価も可) ●評価点4点(a), 3点(a'), 2点(b), 1点(b'), 0点(c)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者、担当技術者の評価に反映。									

考 査 項 目	細 別	選 択	評 価	業 務、管 理、 担 当 技 術 者	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区 分	区 分		6.0	-	3.0	-	0.0	-3.0	-6.0	
説明調整能力の 評価	説明調整能力	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 疑義に対する質問や提案等が適切に行われた。 ☐ ☐ 2. 説明内容が事前に十分整理されており、打合せも円滑に行われた。 ☐ ☐ 3. 打ち合わせ及び資料の説明において、論理的で容易に理解できる説明が行われた。 ☐ ☐ 4. 設計業務等を実施するための関係官公庁等への手続きを速やかに行っている。 ☐ ☐ 5. 発注者が行う関係官公庁等への手続きに際して、分かりやすく、説明しやすい資料等の作成が行われている。 ☐ ☐ 6. 関係官公庁等及び地元関係者との手続きや交渉状況が遅滞なく報告されている。 ☐ ☐ 7. 発注者の指示による受注者が行うべき地元関係者への説明、交渉等において、誠意をもって適切な対応が図られている。 ☐ ☐ 8. その他 () (対象：管理、担当技術者) ◎評定は1～8のうち 評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が70%以上90%未満・・・・・・b 評価値が70%未満・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100									☐ 説明調整について、監督 員が文書で改善指示を行 った。	☐ 説明調整について、監督 職員の文書による改善指 示に従わなかった。

考査項目別採点基準表（詳細設計業務（土木））

業務名：

(監督員 6／6)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				照査技術者	10.0	7.5	5.0	2.5	0.0	-5.0	-10.0
					a	a'	b	b'	c	d	e
					12.0	9.0	6.0	3.0	0.0	-6.0	-12.0
成果物の品質	成果物の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計業務成果概要書は、業務全般の内容とそのポイントが的確に解説しとりまとめられている。 ☐ ☐ 2. 設計計算書は、設計条件、出典根拠、計算プログラム、モデル図、アウトプットデータがわかりやすく整理されている。 ☐ ☐ 3. 設計図面は、特記仕様書に基づき、適切な縮尺、配置により必要事項が漏れなく記載されている。 ☐ ☐ 4. 数量計算書は、計算方法や計算手順が明確である。 ☐ ☐ 5. 概算工事費は、適用する積算基準書に基づき構成され、採用する単価が妥当である。 ☐ ☐ 6. 施工計画書は、工事実施に当たって必要な事項の基本的内容が記載されている。 ☐ ☐ 7. 現地踏査の結果が、写真や図面により的確に整理されている。 ☐ ☐ 8. 数量計算書は、「土木工事数量算出要領（案）」に基づき、工種別、区間別に取りまとめられている。 ☐ ☐ 9. 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を漏れなくとりまとめられている。 ☐ ☐ 10. その他（） ◎評価は1～10のうち 評価値が90％以上・・・a 評価値が80％以上90％未満・・・a' 評価値が70％以上80％未満・・・b 評価値が60％以上70％未満・・・b' 評価値が60％未満・・・・・・・・c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100								☐ 成果物について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果物について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

◎評価は1～10のうち
評価値が90％以上・・・ a
評価値が80％以上90％未満・・・ a'
評価値が70％以上80％未満・・・ b
評価値が60％以上70％未満・・・ b'
評価値が60％未満・・・ c

①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。

③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100

業務名：

業務名：

業務名：

考 査 項 目	細 別	選択	評価	業務、	a	a'	b	b'	c	d	e
		区分	区分	管理技術者	10.0	7.5	5.0	2.5	0.0	-5.0	-10.0
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 管理技術者は、優れた技術力をもって、業務の技術上の管理を適切に行っている。 ☐ ☐ 管理技術者は、関連のある設計業務等の受注者と積極かつ主導的に協議を行い相互に協力し業務を行っている。 ☐ ☐ 業務計画書における実施方針は、優れた手法、技術もしくは創意工夫によるものである。 ☐ ☐ 業務の効率化に関する具体的な提案がされている。 ☐ ☐ 業務の実施体制において、支店・本社などの支援体制が整備されている。 ☐ ☐ その他 () ●判断基準 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は10点(a)評価も可) ※業務執行上の過失として監督員(検査員)細別評価項目においてdまたはe評価があった場合、d評価以下とし「その他」に理由を記載すること。 ●評価点10点(a)，7.5点(a')，5点(b)，2.5点(b')，0点(c)，－5点(d)，－10点(e)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。									

考查項目別採点基準表（詳細設計業務（土木））

業務名：

(主任監督員 2 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20.0	15.0	10.0	7.5	0.0	-	-
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				25.0	19.0	12.5	7.0	0.0	-	-	
実施状況の評価	業務特性	●評価対象項目 (選択) (評価) I 設計条件への対応 ☐ ☐ 現場条件や環境条件などの制約条件が多く、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ 設計条件の設定において、高度な技術を要し、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ 設計条件の設定に当たり、地元、関係機関の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ 関連する事業、工事に配慮する必要があり、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ 地元関係者への説明、交渉等の資料等に工夫がみられ、特に評価できる。 ☐ ☐ その他 () II 高度な技術力への対応 ☐ ☐ 設計成果の導きにおいて、多岐にわたる比較検討が必要であり、その対応が特に評価できる ☐ ☐ 委員会もしくは有識者の意見聴取が必要であり、その対応が特に評価できる。 ☐ ☐ その他 () ※上記の対応事項に 1 つ以上レ点が付けば業務評定、管理技術者は7.5点(b')，担当技術者は7点(b')評価以上とする。 ●評価点20点(a)，15点(a')，10点(b)，7.5点(b')，0点(c)を入力してください 点 ※業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●評価点25点(a)，19点(a')，12.5点(b)，7点(b')，0点(c)を入力してください 点 ※担当技術者の評価に反映。									

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				担当技術者	10.0	7.5	5.0	2.5	0.0	-	-
					a	a'	b	b'	c	d	e
					15.0	12.0	7.5	4.0	0.0	-	-
取組姿勢	責任感・積極性・ 倫理観	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 業務遂行にあつて、有用な提案が行われるなど取組への積極性・責任感に対して特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合など、問合わせや確認が迅速になされ、確認された事項を記録し関係者に共有を図るなど特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ 業務遂行中、新たに発生した課題に対して、社内全体として体制の拡充を図るなど、業務を完成させるにあたり特に評価できるものがあつた。 ☐ ☐ その他 () ●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a～c評価を行う。 ※主任監督員は、監督員の意見を参考に発注業務全体を視野に入れた総括的な評価を行う。 (業務履行過程での日々の対応の評価は監督員が実施) ※評価にあたっては、評価対象項目のレ点の数だけにとらわれず、評価する内容を総合的に判断し評価する。 (例えば、レ点が1つであっても、その内容が特に評価に値する場合は「a」評価も可) ●評価点10点(a), 7.5点(a'), 5点(b), 2.5点(b'), 0点(c)を入力してください 点 *業務評定、管理技術者の評価に反映。 ●評価点15点(a), 12点(a'), 7.5点(b), 4点(b'), 0点(c)を入力してください 点 *担当技術者の評価に反映。									

考 査 項 目	細 別	選 択	評 価	業 務、	a	a'	b	b'	c	d	e	
		区分	区分	管理技術者	10.0	-	5.0	-	0.0	-5.0	-10.0	
実施能力の評価	実施体制と執行計画	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 ☐ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後すみやかに提出されている。 ☐ ☐ 3. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☐ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☐ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図式等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理行い、かつ、委託先の成果物に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. その他 () ◎評価は1～9のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が70%以上90%未満・・・・ b 評価値が70%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () × 100									☐ 実施体制と執行計画について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制と執行計画について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

考查項目別採点基準表（詳細設計業務（土木））

業務名：

(検査担当 2 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、 管理技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					10. 0	7. 5	5. 0	2. 5	0. 0	-5. 0	-10. 0
				担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20. 0	15. 0	10. 0	5. 0	0. 0	-10. 0	-20. 0
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
				12. 0	9. 0	6. 0	3. 0	0. 0	-6. 0	-12. 0	
実施状況の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 設計図書の内容を十分点検している。 ☐ ☐ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ☐ ☐ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして適切に照査を実施している。 ☐ ☐ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書にとりまとめ、照査技術者捺印のうえ管理技術者に提出している。 ☐ ☐ 5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。 ☐ ☐ 6. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 ☐ ☐ (ISO9001等の認証取得と成果への反映が確認される場合) ☐ ☐ 7. 現場発生材の発生抑制や利活用について検討され、成果に反映されている。 ☐ ☐ 8. 最適な施工計画の立案等により、コスト縮減が可能となる成果が得られている。 ☐ ☐ 9. 「業務計画書」における「成果物の品質を確保するための計画」に記述された内容が適切であり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ☐ ☐ 10. 最適な施工計画の立案、新技術、新工法の採用等により工期短縮が可能となる成果が得られている。 ☐ ☐ 11. その他 () (対象：管理、照査、担当技術者) ◎評価は1～11のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、(選択)のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 (%)＝該当項目数 ()／評価対象項目数 ()×100								☐ 品質管理について、監督員が文書で改善指示を行った。	☐ 品質管理について、監督職員の文書による改善指示に従わなかった。

審査項目別採点基準表（詳細設計業務（土木））

業務名：

(検査担当 3 / 3)

考 査 項 目	細 別	選択 区分	評価 区分	業務、管理、 担当技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					20.0	15.0	10.0	5.0	0.0	-10.0	-20.0
				照査技術者	a	a'	b	b'	c	d	e
					28.0	21.0	14.0	7.0	0.0	-14.0	-28.0
成果物の品質	成果物の品質	●評価対象項目 (選択) (評価) ☐ ☐ 1. 現地条件・特性を踏まえた適切な仮設計画、施工方法等が施工計画書に的確に記載されている。 ☐ ☐ 2. 現地踏査の結果より判明した設計上対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ ☐ 3. 現場での施工における技術的ポイントが別途、引き継ぎ事項として整理されている。 ☐ ☐ 4. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 5. 業務遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 6. エコマテリアルの使用をはじめ、現場発生材の積極的な利活用を検討し、監督員と協議のうえ設計に反映させている。 ☐ ☐ 7. 堺市グリーン調達方針に基づき、物品使用の検討にあたって環境への負荷が少ない環境物品の採用をしている。 ☐ ☐ 8. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☐ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい説明となっている。 ☐ ☐ 10. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすい整理されている。 ☐ ☐ 11. 生産性向上（コスト縮減）留意書において、有益な提案がされている。 ☐ ☐ 12. 有用な新技術・新工法の検討がされ、施工品質向上を図る提案がされている。 ☐ ☐ 13. その他 ◎評定は1～13のうち 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c ①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。 ② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。 ③ 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100								☐ 成果物について、監督員 が文書で改善指示を行っ た。	☐ 成果物について、監督職 員の文書による改善指示 に従わなかった。

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

◎評定は1～13のうち

評価値が90%以上・・・ a

評価値が80%以上90%未満・・・ a'

評価値が70%以上80%未満・・・ b

評価値が60%以上70%未満・・・ b'

評価値が60%未満・・・ c

①「評価対象項目」のうち、（選択）のチェック欄があるものは、選択項目として該当する場合に
チェックし、評価対象の項目とする。その他は必須項目とする。

② 必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率（％）計算の値で評価する。

③ 評価値（ ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）×100

業務名:

監督員(建築)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点						評価細目		
			評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)								
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制・自主管理	配点				意匠	構造	積算	業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた	
			得点率								
			得点								
	管理技術者の能力(業務全体に関する評価)	業務の全体把握	配点							業務の目的及び内容を把握していた	
			得点率							業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した	
			得点							業務の実施状況を把握していた	
										業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した	
		工程管理(全体)	配点							当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた	
			得点率							当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった	
			得点							必要な工程管理を行った	
										発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った	
		取組姿勢、責任感の強さ	配点							打合せ等に参加した	
			得点率							打合せ時の発言や提案が積極的になされた	
			得点							業務を統轄した	
										強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した	
		説明力(プレゼンテーション力)、協調性	配点							業務の実施方針等に対する説明がなされた	
			得点率							説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった	
			得点							発注者の意図を理解する姿勢が見られた	
										発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した	
		主任担当技術者能力(担当分野に関する評価)	他分野との調整	配点							担当分野に関して、他の分野との調整を図った
				得点率							他の分野との調整はすみやかに行われた
				得点							他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた
											他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
			工程管理	配点							当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた
				得点率							当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった
				得点							担当分野について必要な工程管理を行った
											発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
	取組姿勢、責任感の強さ		配点							打合せ等に参加した	
			得点率							打合せ等において、発言や提案が積極的になされた	
			得点							担当分野の成果物の取りまとめを行った	
										成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた	
	説明力(プレゼンテーション力)、協調性		配点							分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた	
			得点率							説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった	
			得点							発注者の意図を理解する姿勢が見られた	
										発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した	
小 計			配点				意匠	構造	積算		
			得点								
業務の実施能力	業務履行中の説明資料(途中成果物)に関する評価	記載の程度	配点							途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった	
			得点率							途中成果物には十分な記載(書き込み)があった	
			得点							途中成果物の内容が理解しうる表現であった	
										途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた	
		途中成果物の内容	配点							工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)はなかった	
			得点率							ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった	
			得点							途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった	
										途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた	
	調整及び説明、対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	配点							打合せごとに打合せ記録簿が作成された	
			得点率							打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された	
			得点							打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた	
										打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた	
		指示、協議事項への対応	配点							発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた	
			得点率							発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた	
			得点							発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった	
										発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった	
					意匠	構造	積算	意匠	構造	積算	

評価項目	評価の視点	配点、得点率、得点			評価細目					
		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)								
			意匠	構造	積算	意匠	構造	積算		
業務の実施状況	調整及び説明、対応の迅速性(創意工夫)	設計提案等の説明(プレゼンテーション力)	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する							
			配点			-	□	□	説明資料が準備されていた	
			得点率			-	□	□	説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった	
			得点			-	□	□	提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった	
							□	□	提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった	
	与条件の理解、業務への反映(設計提案)	設計と条件の理解、円滑な業務執行、技術的検討	配点				□	□	当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた	
			得点率				□	□	与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた	
			得点				□	□	業務の各段階で必要な検討がなされていた	
							□	□	検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった	
		仕様書、基準類の理解	配点				□	□	工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた	
			得点率				□	□	発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた	
			得点				□	□	実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた	
							□	□	実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた	
		施工に関する一般的な知識	配点				□	□	施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた	
			得点率				□	□	施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた	
			得点				□	□	材料、機器等に関する一般的な知識を有していた	
							□	□	材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた	
		与条件の理解、業務への反映(設計提案)(創意工夫)	創意工夫、積極的な提案	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する						
				配点			-	□	□	発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った
				得点率			-	□	□	成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた
得点					-	□	□	業務の目的、内容に沿った提案がなされた		
専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する									
	配点				-	□	□	設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた		
	得点率				-	□	□	設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた		
	得点				-	□	□	特定行政庁等の関係者との調整を行った		
				□	□	特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った				
小 計		意匠	構造	積算	意匠	構造	積算			
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	配点				□	□	成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった	
			得点率				□	□	成果物には十分な記載(書き込み)があった	
			得点				□	□	成果物の内容が理解しうる表現であった	
							□	□	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた	
		成果物の内容	配点			-	□	□	成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた	
	得点率				-	□	□	成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった		
	得点				-	□	□	成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた		
						□	□	成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた		
	課題への対応	物理的条件、社会的条件	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する							
			配点			-	□	□	敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
			得点率			-	□	□	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
			得点			-	□	□	敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
		要望、コスト	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する							
			配点			-	□	□	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
			得点率			-	□	□	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
得点					-	□	□	工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた		
				□	□	事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた				
小 計		意匠	構造	積算	意匠	構造	積算			

業務名:

監督員(電気)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)				評価細目	
業務の実施能力				電気	積算	電気 積算		
	業務実施体制	実施体制・自主管理	配点			☐ ☐	業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた	
			得点率			☐ ☐	配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた	
			得点			☐ ☐	業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた	
						☐ ☐	第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた	
	管理技術者の能力(業務全体に関する評価)	業務の全体把握	配点			☐ ☐	業務の目的及び内容を把握していた	
			得点率			☐ ☐	業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した	
			得点			☐ ☐	業務の実施状況を把握していた	
						☐ ☐	業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した	
		工程管理(全体)	配点			☐ ☐	当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた	
			得点率			☐ ☐	当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった	
			得点			☐ ☐	必要な工程管理を行った	
						☐ ☐	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った	
		取組姿勢、責任感の強さ	配点			☐ ☐	打合せ等に参加した	
			得点率			☐ ☐	打合せ時の発言や提案が積極的になされた	
			得点			☐ ☐	業務を統轄した	
						☐ ☐	強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した	
		説明力(プレゼンテーション力)、協調性	配点			☐ ☐	業務の実施方針等に対する説明がなされた	
			得点率			☐ ☐	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった	
			得点			☐ ☐	発注者の意図を理解する姿勢が見られた	
						☐ ☐	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した	
	主任担当技術者能力(担当分野に関する評価)	他分野との調整	配点			☐ ☐	担当分野に関して、他の分野との調整を図った	
			得点率			☐ ☐	他の分野との調整はすみやかに行われた	
			得点			☐ ☐	他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた	
						☐ ☐	他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた	
		工程管理	配点			☐ ☐	当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた	
			得点率			☐ ☐	当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった	
			得点			☐ ☐	担当分野について必要な工程管理を行った	
						☐ ☐	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った	
		取組姿勢、責任感の強さ	配点			☐ ☐	打合せ等に参加した	
			得点率			☐ ☐	打合せ等において、発言や提案が積極的になされた	
			得点			☐ ☐	担当分野の成果物の取りまとめを行った	
						☐ ☐	成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた	
		説明力(プレゼンテーション力)、協調性	配点			☐ ☐	分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた	
			得点率			☐ ☐	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった	
			得点			☐ ☐	発注者の意図を理解する姿勢が見られた	
						☐ ☐	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した	
	小 計		配点					
			得点					
	業務履行中の説明資料(途中成果物)に関する評価	記載の程度	配点			☐ ☐	途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった	
			得点率			☐ ☐	途中成果物には十分な記載(書き込み)があった	
			得点			☐ ☐	途中成果物の内容が理解しうる表現であった	
						☐ ☐	途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた	
		途中成果物の内容	配点			☐ ☐	工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった	
			得点率			☐ ☐	ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった	
			得点			☐ ☐	途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった	
						☐ ☐	途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた	
	調整及び説明、対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	配点			☐ ☐	打合せごとに打合せ記録簿が作成された	
			得点率			☐ ☐	打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された	
			得点			☐ ☐	打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた	
						☐ ☐	打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた	
		指示、協議事項への対応	配点			☐ ☐	発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた	
			得点率			☐ ☐	発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた	
			得点			☐ ☐	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった	
						☐ ☐	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった	
				電気	積算	電気 積算		

評価項目		評価の視点		配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)				評価細目		
				電気	積算	電気	積算			
業務の実施状況	調整及び説明、対応の迅速性(創意工夫)	設計提案等の説明(プレゼンテーション力)	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する							
			配点		-	□	説明資料が準備されていた			
			得点率		-	□	説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった			
			得点		-	□	提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった			
						□	提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった			
	与条件の理解、業務への反映(設計提案)	設計と条件の理解、円滑な業務執行、技術的検討	配点			□ □	当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた			
			得点率			□ □	与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた			
			得点			□ □	業務の各段階で必要な検討がなされていた			
						□ □	検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった			
		仕様書、基準類の理解	配点			□ □	工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた			
			得点率			□ □	発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた			
			得点			□ □	実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた			
						□ □	実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた			
施工に関する一般的な知識		配点			□ □	施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた				
		得点率			□ □	施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた				
		得点			□ □	材料、機器等に関する一般的な知識を有していた				
					□ □	材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた				
創意工夫、積極的な提案	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する									
	配点		-	□	発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った					
	得点率		-	□	成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた					
	得点		-	□	業務の目的、内容に沿った提案がなされた					
				□	提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した					
専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する									
	配点		-	□	設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた					
	得点率		-	□	設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた					
	得点		-	□	特定行政庁等の関係者との調整を行った					
				□	特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った					
小 計				配点			電気	積算	電気	積算
業務目的の達成度	与条件の理解、業務への反映(設計提案)(創意工夫)	記載の程度	配点			□ □	成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった			
			得点率			□ □	成果物には十分な記載(書き込み)があった			
			得点			□ □	成果物の内容が理解しうる表現であった			
						□ □	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた			
		成果物の内容	配点		-	□	成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた			
			得点率		-	□	成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった			
			得点		-	□	成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた			
						□	成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた			
	課題への対応	物理的条件、社会的条件	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する							
			配点		-	□	敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた			
			得点率		-	□	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった			
			得点		-	□	敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた			
		要望、コスト	配点		-	□	利用者の要望に対する解決策に創意工夫が見られた			
			得点率		-	□	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった			
			得点		-	□	工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた			
					□	事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた				
小 計				配点			電気	積算	電気	積算
				得点						

業務名:

監督員(機械)

評価項目		評価の視点		配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)			評価細目	
				機械	積算	機械	積算	
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制・自主管理	配点			☐	☐	業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた
			得点率			☐	☐	配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人数が確保されていた
			得点			☐	☐	業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた
						☐	☐	第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力(業務全体に関する評価)	業務の全体把握	配点			☐	☐	業務の目的及び内容を把握していた
			得点率			☐	☐	業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した
			得点			☐	☐	業務の実施状況を把握していた
						☐	☐	業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理(全体)	配点			☐	☐	当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた
			得点率			☐	☐	当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった
			得点			☐	☐	必要な工程管理を行った
						☐	☐	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢、責任感の強さ	配点			☐	☐	打合せ等に参加した
			得点率			☐	☐	打合せ時の発言や提案が積極的になされた
			得点			☐	☐	業務を統轄した
						☐	☐	強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力(プレゼンテーション力)、協調性	配点			☐	☐	業務の実施方針等に対する説明がなされた
			得点率			☐	☐	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった
			得点			☐	☐	発注者の意図を理解する姿勢が見られた
						☐	☐	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者能力(担当分野に関する評価)	他分野との調整	配点			☐	☐	担当分野に関して、他の分野との調整を図った
			得点率			☐	☐	他の分野との調整はすみやかに行われた
			得点			☐	☐	他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた
						☐	☐	他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
工程管理		配点			☐	☐	当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた	
		得点率			☐	☐	当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった	
		得点			☐	☐	担当分野について必要な工程管理を行った	
					☐	☐	発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った	
取組姿勢、責任感の強さ		配点			☐	☐	打合せ等に参加した	
		得点率			☐	☐	打合せ等において、発言や提案が積極的になされた	
		得点			☐	☐	担当分野の成果物の取りまとめを行った	
					☐	☐	成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた	
説明力(プレゼンテーション力)、協調性		配点			☐	☐	分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた	
		得点率			☐	☐	説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった	
		得点			☐	☐	発注者の意図を理解する姿勢が見られた	
					☐	☐	発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した	
小 計		配点						
業務の実施能力	業務履行中の説明資料(途中成果物)に関する評価	記載の程度	配点			☐	☐	途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
			得点率			☐	☐	途中成果物には十分な記載(書き込み)があった
			得点			☐	☐	途中成果物の内容が理解しうる表現であった
						☐	☐	途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	配点			☐	☐	工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった
			得点率			☐	☐	ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった
			得点			☐	☐	途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった
						☐	☐	途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明、対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	配点			☐	☐	打合せごとに打合せ記録簿が作成された
			得点率			☐	☐	打合せ記録簿は、迅速かつ確に作成された
			得点			☐	☐	打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた
						☐	☐	打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	配点			☐	☐	発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた
			得点率			☐	☐	発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた
			得点			☐	☐	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった
						☐	☐	発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		機械	積算	機械	積算			

業務名:

監督員(機械)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					評価細目		
				機械	積算	機械	積算			
業務の実施状況	調整及び説明、対応の迅速性(創意工夫)	設計提案等の説明(プレゼンテーション力)	※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する							
			配点		-	☐	説明資料が準備されていた			
			得点率		-	☐	説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった			
			得点		-	☐	提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった			
				☐	提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった					
	与条件の理解、業務への反映(設計提案)	設計と条件の理解、円滑な業務執行、技術的検討	配点			☐	☐	当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた		
			得点率			☐	☐	与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた		
			得点			☐	☐	業務の各段階で必要な検討がなされていた		
						☐	☐	検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった		
		仕様書、基準類の理解	配点			☐	☐	工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた		
			得点率			☐	☐	発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた		
			得点			☐	☐	実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた		
					☐	☐	実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた			
		施工に関する一般的な知識	配点			☐	☐	施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた		
			得点率			☐	☐	施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた		
得点					☐	☐	材料、機器等に関する一般的な知識を有していた			
			☐	☐	材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた					
	創意工夫、積極的な提案	※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する								
		配点		-	☐	発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った				
		得点率		-	☐	成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた				
		得点		-	☐	業務の目的、内容に沿った提案がなされた				
				☐	提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した					
	専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する								
		配点		-	☐	設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた				
		得点率		-	☐	設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた				
得点			-	☐	特定行政庁等の関係者との調整を行った					
			☐	特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った						
			機械	積算	機械	積算				
小 計		配点								
業務目的の達成度	与条件の理解、業務への反映(設計提案)(創意工夫)	記載の程度	配点			☐	☐	成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった		
			得点率			☐	☐	成果物には十分な記載(書き込み)があった		
			得点			☐	☐	成果物の内容が理解しうる表現であった		
						☐	☐	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた		
		成果物の内容	配点		-	☐	成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた			
			得点率		-	☐	成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった			
			得点		-	☐	成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた			
						☐	成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた			
	課題への対応	物理的条件、社会的条件	※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する							
			配点		-	☐	敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた			
			得点率		-	☐	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった			
			得点		-	☐	敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた			
					☐	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった				
		要望、コスト	配点		-	☐	利用者の要望に対する解決策に創意工夫が見られた			
			得点率		-	☐	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった			
得点				-	☐	工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた				
				☐	事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた					
			機械	積算	機械	積算				
小 計		配点								
		得点								

業務名：

主任監督員

評価項目		評価の視点	配点	得点率		得点	評価細目					
業務の実施能力	業務実施体制	実施体制・自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)			☐ 契約図書に基づき、実施体制を含む業務計画書等が期限までに提出された					
							☐ 提出された実施体制は、業務を適切に遂行できるような構成及び人員配置となっていた					
			☐ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた									
			☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた									
	小計											
	管理技術者の能力(業務全体に関する評価)	管理技術者としての責務		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.75) =2⇒『やや劣』(得点率-0.5) =3⇒『やや劣』(得点率-0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1)			☐ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を把握していた					
							☐ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を踏まえ、適時に適切な業務実施の方針を提示した					
							☐ 業務全体について、必要な工程管理を行った					
							☐ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った					
☐ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ業務を統轄した												
☐ 打合せ時などで自ら発言・提案を行い、積極的に配下の担当者を統率するなど、積極的に業務を統轄した												
☐ 発注者に業務上必要な説明を行った												
☐ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた												
小計												
主任担当技術者能力(担当分野に関する評価)	主任担当技術者の役割		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.75) =2⇒『やや劣』(得点率-0.5) =3⇒『やや劣』(得点率-0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1)			☐ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った						
						☐ 担当分野に関して、他の分野との調整が適切に行われ、十分な成果が得られた						
						☐ 担当分野について、必要な工程管理を行った						
						☐ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った						
						☐ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ担当業務を行った						
						☐ 打合せ等などで自ら発言・提案を行うなどして、積極的に業務を行った						
						☐ 発注者に業務上必要な説明を行った						
						☐ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた						
	小計											
業務の実施状況	業務履行中の説明資料(途中成果物)に関する評価	業務履行中の説明資料(途中成果物)に関する評価	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)			☐ 途中成果物は、理解しうる表現で最低限の記載(書き込み)があった						
						☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があり、理解しやすいように表現が工夫されていた						
						☐ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無く、業務目的に沿った内容であった						
						☐ ミスはほとんど無く、発注者の意図が十分反映された内容となっていた						
						小計						
						調整及び説明、対応の迅速性	調整及び説明対応の迅速性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)			☐ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応がなされた
												☐ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応が迅速に行われた
	☐ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に沿ったものであった											
	☐ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に十分応えるものであった											
小計												

評価項目	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
与条件の理解、業務への反映(設計提案)	与条件への理解業務への反映(設計提案)		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)		☐ 与条件や必要な項目についての検討がなされた
					☐ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
					☐ 業務を行う上で必要となる基準や法令類や施工方法等に関する知識を有していた
					☐ 上記の知識が、設計内容に十分反映されていた
	小計				
業務目的の達成度	課題への対応	記載の程度	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)		☐ 成果物には最低限の記載(書き込み)があった
					☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
					☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった
					☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
	成果物の内容	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)			☐ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
					☐ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
					☐ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた
					☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
	小計				
業務目的の達成度	課題への対応	物理的条件社会的条件要望コスト	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)		☐ 設計と条件、要望等に対する解決方針に創意工夫が見られた
					☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
					☐ 工事費について、バランスの取れたコスト配分がなされていた
					☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
	小計				
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行に係る過失に伴う減点	業務遂行上の過失 (総合評価落札方式により契約の相手方を決定した業務において、入札時の評価内容が履行されない又は評価内容に変更が生じた場合は、本項目のその他で減点するものとする。)	評価細目チェック数1つ 毎に3点減点		☐ 業務遂行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。
					☐ 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。
					☐ 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。
					☐ 業務実施体制に問題があった。
					☐ その他理由：
	守秘性に係る過失	評価細目チェック数1つ 毎に3点減点 (チェックは1つまで)			☐ 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。
					☐ その他理由：
	法令遵守	右記評価細目の該当項目に応じて減点			☐ 入札参加資格停止1か月超(15点の減点)
					☐ 入札参加資格停止1か月以下(10点の減点)
					☐ 文書注意(5点の減点)
	小計				
業務完了後に生じた事由による減点		業務完了後に生じた事由による減点	右記評価細目の該当項目に応じて減点		☐ 瑕疵修補又は損害賠償の実施(10点の減点)
					☐ 故意又は重大な過失による瑕疵修補又は損害賠償の実施(20点の減点)
	小計				

業務名:

検査担当(建築)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)							評価細目	
				意匠	構造	積算	意匠	構造	積算		
業務目的の達成度	記載の程度	配点					☐	☐	☐	成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった	
		得点率					☐	☐	☐	成果物には十分な記載(書き込み)があった	
		得点					☐	☐	☐	成果物の内容が理解しうる表現であった	
						☐	☐	☐	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた		
		成果物の内容	配点				-	☐	☐	成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた	
			得点率				-	☐	☐	成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった	
			得点				-	☐	☐	成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた	
							☐	☐	成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた		
		資料等の整理、指示、協議事項への対応	配点					☐	☐	☐	打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた
			得点率					☐	☐	☐	打合せ記録簿等の内容は理解しやすいように表現が工夫されていた
			得点					☐	☐	☐	発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた
							☐	☐	☐	発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった	
				意匠	構造	積算	意匠	構造	積算		
	小 計		配点								
			得点								
	□ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する										
	課題への対応	物理的条件、社会的条件	配点				-	☐	☐	敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
			得点率				-	☐	☐	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
			得点				-	☐	☐	敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
							☐	☐	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった		
		要望、コスト	配点				-	☐	☐	利用者の要望に対する解決策に創意工夫が見られた	
			得点率				-	☐	☐	採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
			得点				-	☐	☐	工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた	
							☐	☐	事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた		
				意匠	構造	積算	意匠	構造	積算		
	小 計		配点								
			得点								

業務名:

検査担当(電気)

評価項目		評価の視点		配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)			評価細目		
			電気	積算	電気	積算			
業務目的の達成度	記載の程度	配点			☐	☐	成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった		
		得点率			☐	☐	成果物には十分な記載(書き込み)があった		
		得点			☐	☐	成果物の内容が理解しうる表現であった		
					☐	☐	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた		
	成果物の内容	配点		-	☐		成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた		
		得点率		-	☐		成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった		
		得点		-	☐		成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた		
					☐		成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた		
	資料等の整理、指示、協議事項への対応	配点			☐	☐	打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた		
		得点率			☐	☐	打合せ記録簿等の内容は理解しやすいように表現が工夫されていた		
		得点			☐	☐	発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた		
					☐	☐	発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった		
				電気	積算	電気	積算		
	小 計		配点						
			得点						
	☐ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する								
課題への対応	物理的条件、社会的条件	配点		-	☐		敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方針に創意工夫が見られた		
		得点率		-	☐		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった		
		得点		-	☐		敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方針に創意工夫が見られた		
					☐		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった		
	要望、コスト	配点		-	☐		利用者の要望に対する解決方針に創意工夫が見られた		
		得点率		-	☐		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった		
		得点		-	☐		工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた		
					☐		事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた		
			電気	積算	電気	積算			
小 計		配点							
		得点							

業務名:

検査担当(機械)

評価項目		評価の視点	配点、得点率、得点 評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)				評価細目	
			機械	積算	機械	積算		
業務目的の達成度	記載の程度	配点			☐	☐	成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった	
		得点率			☐	☐	成果物には十分な記載(書き込み)があった	
		得点			☐	☐	成果物の内容が理解しうる表現であった	
					☐	☐	成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた	
	成果物の内容	配点		-	☐		成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた	
		得点率		-	☐		成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった	
		得点		-	☐		成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた	
					☐		成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた	
	資料等の整理、指示、協議事項への対応	配点			☐	☐	打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた	
		得点率			☐	☐	打合せ記録簿等の内容は理解しやすいように表現が工夫されていた	
		得点			☐	☐	発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた	
					☐	☐	発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった	
			機械	積算	機械	積算		
	小 計		配点					
			得点					
	☐ ※創意工夫の余地が大きい業務の場合に評価する							
	課題への対応	物理的条件、社会的条件	配点		-	☐		敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた
得点率				-	☐		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
得点				-	☐		敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
					☐		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
要望、コスト		配点		-	☐		利用者の要望に対する解決策に創意工夫が見られた	
		得点率		-	☐		採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
		得点		-	☐		工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた	
					☐		事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた	
		機械	積算	機械	積算			
小 計		配点						
		得点						

業務名：
 考査項目別採点基準表（工事監理業務）
 (監督員)

業務名：

評価項目	細別	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
専門技術力	目的と内容の理解	当該業務主旨の理解	6	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.8」 4→「1.0」		☐ 当該業務の目的、内容が理解されていた。
						☐ 業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。
						☐ 業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。
						☐ 提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。（担当路線・河川等の地域特性など）
	小計		6			
	的確な履行	法令・技術基準の知識	12	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.8」 4→「1.0」		☐ 業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。
						☐ 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。
						☐ 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。
						☐ 業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。
		業務内容についての判断	12	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.7」 4→「0.8」 5→「1.0」		☐ 業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。
						☐ 業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。
						☐ 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
						☐ 業務遂行段階において、発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。
						☐ 業務（現場）で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。
		関係者とのコミュニケーション	12	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.8」 4→「1.0」		☐ 日々の業務内容を監督員に報告するなど常に連絡を密にしていた。
						☐ 緊急性のあるもの、ないものとの判断が適切に行われ、監督員に分かりやすく伝えられた。
						☐ 現場での問題点などを迅速に監督員に伝え、問題解決に繋がる提案をした。
						☐ 関係者（工事請負業者等）との対話を心がけ、トラブルがなかった。
小計		36				
業務目的の達成度	必要事項の記載	12	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.8」 4→「1.0」		☐ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。	
					☐ 監督員からの指示事項が、漏れなく実施された。	
					☐ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。	
					☐ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。	
	業務に求められる的確な取りまとめ	6	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.8」 4→「1.0」		☐ 業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。	
					☐ 業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。	
					☐ 業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。	
					☐ 業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。	
小計		18				

(別紙2-8)

考查項目別採点基準表（工事監理業務）

業務名：

(監督員)

評価項目	細別	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	12	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.8」 4→「1.0」		☐ 業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。
		☐ 当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。				
		☐ 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。				
		☐ 履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。				
		小計	12			
	打合わせの理解度	発注者との打ち合わせ	6	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.6」 2→「1.0」		☐ 打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。
		☐ 受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。				
	小計	6				
指揮系統の迅速性、確実性	情報伝達の基本	14	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.7」 4→「0.8」 5→「1.0」		☐ 関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。	
	☐ 情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。					
	☐ 当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。					
	☐ 問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。					
	☐ 担当技術者への技術的関与が的確であった。					
	小計	14				
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	責任感、積極性、発注者側の視点	8	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.7」 4→「0.8」 5→「1.0」		☐ 管理技術者、担当技術者として、無責任な姿勢は見られず、発注者を支援する立場としてふさわしい対応をとった。
		☐ 打合せにおいて、発注者側の視点から確認・解決すべき事項を見逃さなかった。				
		☐ 業務遂行段階において不明な点が生じた場合は、発注者を支援する立場としてとして問い合わせや確認が迅速になされた。				
		☐ 発注者を支援する立場として、関係者に対する対応が適切であるとともに、必要な報告・調整が遅滞なく実施された。				
		☐ 業務の内容・精度を向上させる新たな取り組みが自主的になされた。				
	小計	8				

(別紙2-8)

考查項目別採点基準表（工事監理業務）

業務名：

(主任監督員)

評価項目	細別	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目	
管理技術力	指揮系統の迅速性、確実性	指示系統の迅速性・確実性	14	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」（基準点）、「0.8」、「1.0」を付与する。		☐ 指示系統の迅速性が確保されている。	
		☐ 指示系統が系統どおり確実に実施されている。					
				☐ 情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。			
			☐ 問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。				
			☐ 関係者間の情報伝達が滞滞なく、確実に交わされていた。				
取組姿勢	責任感、積極性、発注者側の視点	責任感、積極性、発注者側の視点	8	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」（基準点）、「0.8」、「1.0」を付与する。		☐ 企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。	
		☐ 当該業務遂行にあたって、取組への積極性・責任感に対して評価できるものであった。					
				☐ 地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。			
			☐ 業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完了させた。				
			☐ その他（理由：）				
	業務執行に係る過失に伴う減点	業務遂行上の過失	0	評価細目チェック数1つ毎に3点減点		☐ 業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。	
		☐ 関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。					
		☐ 業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。					
				☐ 業務実施体制に問題があった。			
				☐ その他（理由：）			
	中立性・公平性に係る過失	中立性・公平性に係る過失	0	評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで）		☐ 中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、受注者に帰する過失があった。	
		☐ その他（理由：）					
	守秘性に係る過失	守秘性に係る過失	0	評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで）		☐ 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。	
		☐ その他（理由：）					

考查項目別採点基準表（工事監理業務）

業務名：						(検査担当)
評価項目	細別	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
専門技術力	業務目的の達成度	業務に求められる的確な取りまとめ	6	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.8」 4→「1.0」		☐ 業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。
						☐ 業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。
						☐ 業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。
						☐ 業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	小計		6			
管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	12	評価細目チェック数 0→「0.2」 1→「0.4」 2→「0.6」 3→「0.8」 4→「1.0」		☐ 業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。
						☐ 当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。
						☐ 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。
						☐ 履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。
	小計		12			